

2 調査票

在宅医療の提供と 連携に関する調査票

管理者の方にご回答願います

【 ①病院 ・ ②医科診療所 】

※訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等を別枠で運営している場合は、病院・医科診療所単体として回答してください。なお、健診センター等の予防部門は調査対象外のため、回答に含めないようお願いします。

令和4年 9月

静岡市 地域包括ケア推進本部

返信用封筒に封入の上、令和4年 9月 22日（木）までにご返送ください。

在宅医療・介護の提供と連携に関する調査

※ご記入の留意点

1. 設問中、特に記載のないものに関しては、令和4年8月1日現在の状況でお答えください。
2. 調査票に示す「在宅医療」とは、自宅のみでなく、有料老人ホーム・サービス付高齢者住宅・ケアハウス・グループホーム等の介護施設での医療提供を含めます。
3. 各質問の該当する項目のいずれかに○印をつけるか、又はご記入をお願いします。

貴機関の属性について

問1 貴機関の所在地はどの区ですか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

1 葵区

2 駿河区

3 清水区

問1-1 貴機関の所在地はどの包括圏域ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

区	番号	地域包括支援センター名	主な対象区域
葵区	1	城西	駒形、新通、田町
	2	安西番町	安西、番町
	3-①	城東	葵、安東
	3-②	井川	井川
	4	伝馬町横内	伝馬町、横内
	5	城北	麻機、竜南、城北
	6	千代田	千代田、千代田東
	7	長尾川	北沼上、西奈、西奈南
	8	美和	足久保、美和、安倍口
	9	賤機	井宮、井宮北、賤機南
	10	安倍	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中
	11	服織	服織、服織西、南藁科
駿河区	12	藁科	中藁科、清沢、大川
	13	小鹿豊田	東源台、東豊田、西豊田
	14	八幡山	森下、富士見
	15	大谷久能	大谷、久能
	16	大里中島	大里西、中島
	17	大里高松	中田、大里東、宮竹、南部、富士見の一部
	18	長田	長田東、長田南、川原
清水区	19	丸子	長田北、長田西
	20	港北	辻、江尻、袖師
	21	興津川	興津、小島
	22	両河内	両河内
	23	港南	入江、浜田、清水
	24	岡船越	岡、船越
	25	高部	高部
	26	飯田庵原	飯田、庵原
	27	松原	不二見、駒越、折戸、三保
	28	有度	有度
	29	蒲原由比	蒲原、由比

問2 貴機関の従事者について、職種ごとの人数を記入してください。

※複数の資格のある従事者については、主たる業務に係る職種1つに記入してください。

また、常勤、非常勤は問いません。

1 職種	2 従事者	3 従事者のうち在宅医療を実施している者
① 医師	() 人	() 人
② 歯科医師	() 人	() 人
③ 薬剤師	() 人	() 人
④ 保健師	() 人	() 人
⑤ 看護師	() 人	() 人
⑥ 准看護師	() 人	() 人
⑦ 歯科衛生士	() 人	() 人
⑧ 理学療法士	() 人	() 人
⑨ 作業療法士	() 人	() 人
⑩ 言語聴覚士	() 人	() 人
⑪ 栄養士	() 人	() 人
⑫ 社会福祉士	() 人	() 人
⑬ 介護福祉士	() 人	() 人
⑭ 介護支援専門員	() 人	() 人
⑮ ホームヘルパー	() 人	() 人
⑯ 介護職員	() 人	() 人
⑰ 事務職	() 人	() 人
⑱ その他	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人

問3 貴機関は次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※複数の機関を併設している場合は、この調査票の送付文に表示された、調査対象としての機関名を回答してください。(1つ選択)

1 病院	2 医科診療所(有床)	3 医科診療所(無床)
------	-------------	-------------

問3で「2 医科診療所(有床)」または「3 医科診療所(無床)」を選択した機関のみ回答してください。

問3-1 貴機関の主たる診療科を1つ選んでください。(複数の診療科を標榜されている場合は、最も患者数の多い診療科を選んでください。)(1つ選択)

1 内科	2 リハビリテーション科	3 整形外科
4 外科	5 アレルギー科	6 眼科
7 皮膚科	8 耳鼻科	9 その他()

在宅医療について

問4 在宅医療（訪問診療や往診等）を実施していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※訪問診療：定期的な訪問による診療

※往診：必要時の（不定期な）訪問による診療（1つ選択）

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1 実施している | ⇒ 問5へ |
| 2 現在は実施していないが、5年以内に取組む意向がある | |
| 3 現在は実施していない。取組む意向はあるが実施は難しい | |
| 4 取組む意向はない | |

問4で「1 実施している」と答えた機関のみ回答してください。（問4－9まで）

問4－1 在宅医療をどのように実施していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

（1つ選択）

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 自院のみで実施している |) |
| 2 基本的には自院のみで実施するが、他院と協力する場合もある | |
| 3 いつも他院と協力して実施している | |
| 4 その他（ | |

問4－2 在宅医療等のうち、実施している事業をすべて選んでください。（複数回答）

- | | | | |
|---------------|-------------------|---|---|
| 1 訪問診療 | 2 往診 |) | |
| 3 訪問薬剤管理指導 | 4 訪問看護（みなし訪問看護含む） | |) |
| 5 訪問リハビリテーション | 6 訪問栄養・食事指導 | | |
| 7 その他（ | | | |
| （ | | | |
| （ | |) | |

問4ー3 患者の紹介元ごとに、患者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	患者の紹介元機関名	患者数（実数）
①	病院	（ ）人
②	医科診療所（有床）	（ ）人
③	医科診療所（無床）	（ ）人
④	歯科診療所	（ ）人
⑤	薬局	（ ）人
⑥	訪問看護ステーション	（ ）人
⑦	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	（ ）人
⑧	看護小規模多機能型居宅介護事業所	（ ）人
⑨	居宅介護支援事業所	（ ）人
⑩	訪問介護事業所	（ ）人
⑪	通所介護事業所	（ ）人
⑫	訪問入浴介護事業所	（ ）人
⑬	訪問リハビリテーション事業所	（ ）人
⑭	通所リハビリテーション事業所	（ ）人
⑮	地域包括支援センター	（ ）人
⑯	行政機関	（ ）人
⑰	本人・家族	（ ）人
⑱	民生委員等	（ ）人
⑲	その他（ ）	（ ）人

問4-4 訪問による診療等を行った疾患別、場所別の患者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	1 訪問診療 (人)	2 住診 (人)	3 訪問薬剤管理指導 (人)	4 訪問看護(みなし看護含む) (人)	5 訪問リハビリテーション (人)	6 訪問栄養・食事指導 (人)	7 その他 (人)	(人)	(人)	(人)
(1) (疾患別) 患者数										
① 患者数 (実数)										
うち、がん患者数										
② 患者数 (延べ数)										
うち、がん患者数										
(2) 訪問場所別患者数 (実数)										
① 自宅										
② 特別養護老人ホーム										
③ 有料老人ホーム										
④ サービス付高齢者住宅										
⑤ 軽費老人ホーム (ケアハウス)										
⑥ グループホーム										
⑦ その他 ()										
(3) 令和3年8月1日～令和4年7月31日までの1年間における患者数 (実数)										
① 看取り患者数 (実数)	() 人									
② 上記①のうち、がん患者数 (実数)	() 人									

問4-5 在宅医療を行う対象について記入してください。

(1) 対象範囲(移動距離)を決めていますか。 (1つ選択)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 決めている ⇒ 【静岡市内及び市外・市内・区内・その他()】 |
| 2 特に決めていない |

(2) 対象とする疾患等を決めていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

(複数回答)

- | | |
|----------|--------------|
| 1 がん | 2 糖尿病 |
| 3 高血圧性疾患 | 4 虚血性心疾患 |
| 5 脳血管疾患 | 6 認知症 |
| 7 神経難病 | 8 慢性呼吸不全 |
| 9 消化器疾患 | 10 泌尿器系疾患 |
| 11 肝臓疾患 | 12 腎疾患(透析含む) |
| 13 骨折 | 14 脊髄損傷 |
| 15 終末期 | 16 在宅における看取り |
| 17 口腔疾患 | 18 その他() |

問4-6 訪問診療等に対応する時間帯を決めていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- | |
|--|
| 1 決めている ⇒ さらに①～⑤を選んでください。
① 24時間いつでも対応
② 診療時間内のみ対応
③ 診療時間外のみ対応
④ 曜日や時間を決めて対応
⇒【曜日】 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 土 ・ 日
【時間】()時()分～()時()分
⑤ その他() |
| 2 決めていない |

問4-7 訪問で対応可能な処置をすべて選んでください。

(複数回答)

1 経管栄養療法(胃ろう・腸ろう・経鼻カテーテル)	2 在宅酸素療法
3 在宅注射療法(IVH・点滴注射・自己注射)	4 在宅腹膜灌流
5 人工呼吸器の管理	6 気管切開の処置
7 膀胱カテーテルの留置・導尿	8 人工肛門(ストーマケア)・人工膀胱
9 看取り(の処置)	10 がん末期の疼痛管理
11 がん末期以外の疼痛等の管理	12 リハビリテーション
13 褥瘡処置・皮膚処置	14 吸入・吸引
15 浣腸・摘便	16 人工透析
17 歯科医療・口腔ケア(自費を含む)	18 歯周病治療
19 むし歯の治療	20 抜歯等の処置
21 義歯関係処置(自費を含む)	22 フッ素塗布
23 服薬管理・点眼指導	24 麻薬の取扱い
25 認知症患者の対応	26 その他()

問4-8 在宅医療提供の終了状況ごとに、患者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	終了患者の状況	患者数(実数)
①	患者の死亡	()人
②	患者の入院(他医療機関への転院も含む)	()人
③	施設への入所	()人
④	サービス付高齢者住宅への入居	()人
⑤	引っ越し、転出	()人
⑥	病状軽快	()人
⑦	家族・親族等からの申し出	()人
⑧	その他()	()人

問4-9 今後、現在の体制を維持した場合、訪問患者数を増やすことが可能ですか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

1 患者数を増やすことが可能 ⇒ (1か月当たり)人程度)
2 患者数を増やすことはできるが、現状を維持したい
3 患者数を増やすことはできない
4 わからない
5 その他()

問4で、2～4のいずれかを選択した機関のみ回答してください。(問5－1まで)

問5 在宅医療を実施していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 実施するためのスタッフがいらない | 2 患者からのニーズがない |
| 3 採算が取れない | 4 必要性を感じない |
| 5 関心がない | 6 時間が確保できない |
| 7 専門領域以外の対応が困難 | 8 経験がない・不足している |
| 9 負担が大きい | 10 その他 () |

問5－1 在宅医療を開始するために必要なことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | |
|--|
| 1 指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる(在宅医療を実施している医師等) |
| 2 チームで実施できる体制を整える |
| 3 研修や体験の機会 |
| 4 病状悪化時等に入院できる受入先の確保 |
| 5 その他 () |

地域ケア会議について

問6 地域ケア会議(地域包括支援センターが、圏域ごとの地区課題解決のため関係機関を招集し行われる)を知っていますか。また、参加要請を受けたことはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

※令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間

- | |
|-----------------------------------|
| 1 会議について知っており、参加要請がある |
| 2 会議について知っており、参加要請に応じ参加したことがある |
| 3 会議について知っているが、参加要請はない |
| 4 会議について知っているが、参加したいと思わない |
| 5 会議について知らないが、参加要請があれば参加したい |
| 6 会議について知らないし、参加要請もない |
| 7 会議について知らないし、参加要請もなく、参加したいとも思わない |

在宅医療・介護連携について

問7 貴機関は、コロナ禍において入院から在宅への移行に係る退院前カンファレンスに参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。(1つ選択)

- | |
|---|
| 1 参加したことがある
⇒ 1 対面 2 電話 3 紙面 4 オンライン開催 5 その他 () |
| 2 参加したことがない |

問8 貴機関は、コロナ禍においてサービス担当者会議に参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。(1つ選択)

- | |
|---|
| 1 参加したことがある
⇒ 1 対面 2 電話 3 紙面 4 オンライン開催 5 その他 () |
| 2 参加したことがない |

問9 次に掲載する他の関係機関との連携について、それぞれ、「連携がうまくいっている」事業所、「連携がうまくいっていない」事業所の数大よその数を記入してください。

また、それぞれの主観的な理由として、あてはまるものすべてに○を付けてください。

(複数回答)

		(記入例)・・・	病院	医科診療所(有床)	医科診療所(無床)	歯科診療所	薬局	訪問看護ステーション	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	看護小規模多機能型居宅介護事業所	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	通所介護事業所	訪問入浴介護事業所	訪問リハビリテーション事業所	通所リハビリテーション事業所	施設(特養・老健等)	地域包括支援センター	行政機関
連携がうまくいっている事業所数		7																	
その理由	1.常に情報が行きかっている																		
	2.信頼関係が築けている	○																	
	3.先方の業務を理解できている																		
	4.必要時に連絡が取り合える																		
	5.迅速または熱心に対応してもらえる																		
	6.親切で配慮がある	○																	
	7.過去の実績がある																		
	8.その他()																		
連携がうまくいっていない事業所数		2																	
その理由	1.情報が来ない																		
	2.信頼性に欠ける																		
	3.顔の見える関係ができていない	○																	
	4.連携の必要性を理解されない																		
	5.連絡がとりづらい																		
	6.対応が遅い、または動かない																		
	7.親切でない																		
	8.過去に問題が生じた																		
	9.その他()																		

問10 全体的に医療・介護連携はうまくいっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。 (1つ選択)

- | | | |
|-------------|----------------|----------------|
| 1 うまくいっている | 2 まあまあうまくいっている | 3 あまりうまくいっていない |
| 4 うまくいっていない | 5 わからない | |

問10で、「3 あまりうまくいっていない」または「4 うまくいっていない」と答えた機関のみ回答してください。

問10-1 医療・介護連携でうまくいっていない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

- | |
|---------------------------|
| 1 他の職種と顔の見える関係が作れていない |
| 2 他の職種の業務内容が共有できていない |
| 3 情報交換する会議などの機会がない |
| 4 情報交換する時間がない |
| 5 病変の急変時における連携体制が不十分 |
| 6 人材が育成されていない |
| 7 どこの機関が主導してくれるかはっきりしていない |
| 8 諸制度が複雑で連携する機関がわかりにくい |
| 9 関係職種に連携の必要性が理解されていない |
| 10 情報交換する方法がわからない |
| 11 必要な研修を受講する機会がない |
| 12 その他 () |

問11 在宅医療と介護の連携を進めていく上で、ここ3年間に取組みが進んだと思うことと、今後取組む必要があると思うことはどんなことですか。それぞれあてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

項 目	取組みが進んでいる	今後取組む必要がある
1 圏域単位で他職種との情報交換・顔合わせの場を持つ（地域ケア会議の開催等）		
2 多職種による事例検討会の開催		
3 多職種が情報共有するためのツールの作成		
4 多職種連携の事例紹介		
5 在宅医療・介護連携についての知識の習得（研修会、講演会の開催等）		
6 地域包括支援センター等、圏域中心機関の機能強化		
7 在宅医療連携パスの作成		
8 市内で実施している在宅医療・介護関連の事業を整理		
9 一般市民への周知、啓発		
10 その他 ()		

問12 貴機関の従事者の資質向上のためにどのようなことに取組まれていますか。

あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- 1 貴機関内での研修や勉強会の実施
- 2 行政や職能団体が主催する事業、研修への積極的な参加
- 3 関係学会での発表、講師活動の機会の提供
- 4 サービス利用者等を対象とした評価のためのアンケート調査
- 5 資格取得のための支援制度の整備
- 6 従事者を対象とした自己啓発制度や表彰制度の導入
- 7 機関として地域づくりへの貢献の意識向上
- 8 その他 ()

終末期医療について

問13 終末期の段階にある患者の在宅医療に対応していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- 1 対応している
- 2 対応していない

問13で、「2 対応していない」と答えた機関のみ回答してください。

問13-1 対応していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- 1 24時間の体制がとれない
- 2 対応できる技術・知識がない
- 3 終末期の方に限らず、訪問対応はしていない
- 4 その他 ()

問14 在宅で終末期医療等を行う場合の限界について、どうお考えですか。

あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- 1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている
- 2 可能な限り在宅で行うが、死の直前は病院等医療機関で行うべきである
- 3 可能な限り在宅で行いたい、単独では難しい
- 4 可能な限り在宅で看取りまで行うべきである
- 5 その他 ()

問14で、「1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている」と答えた機関のみ回答してください。

問14-1 その理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- 1 患者本人や家族にその意向がない
- 2 介護する家族等に十分な知識がない
- 3 終末期の病状に対応する設備が不十分である
- 4 終末期の病状に対応する処置等の技術に不安がある
- 5 対応できるチーム体制が整っていない
- 6 その他 ()

問15 「在宅療養支援診療所・病院」の届出についてあてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 届出済(平成・令和 年 月 日) | 2 届出予定あり(令和 年 月 日) |
| 3 令和4年度中に届出したい | 4 ここ2～3年以内に届出したい |
| 5 届出をする予定はない | |

問15で「5 届出をする予定はない」と答えた機関のみ回答してください。

問15-1 在宅療養支援診療所・病院の届出をしない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | |
|------------------------------|
| 1 24時間対応可能な体制を維持できない |
| 2 訪問看護との連携ができない |
| 3 診療内容上必要がない |
| 4 終末期医療のことを考えると責任が持てない |
| 5 在宅療養患者の緊急入院を受け入れる体制を確保できない |
| 6 ケアマネジャーとの連携が難しい |
| 7 スタッフが確保できない |
| 8 協力、連携できる医療機関を確保できない(機能強化型) |
| 9 そういう届出を知らない、または届出方法がわからない |
| 10 その他() |

ACP(人生会議)について

問16 現在、患者、利用者や家族に対して、ACP(人生会議)を実施していますか。(1つ選択)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 実施している | 2 実施していない |
|----------|-----------|

問16で、「2 実施していない」と答えた機関のみ回答してください。

問16-1 実施していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 話し合いのためのノウハウがない | 2 話し合う余裕がない |
| 3 話を切り出すことに抵抗を感じる | 4 話し合うきっかけがなかった |
| 5 話し合う必要性を感じていない | 6 対象となる患者がいない |
| 7 その他() | |

問17 貴機関において、ACP(人生会議)の推進に必要なと思われるものは何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | |
|---------------------------------|
| 1 貴機関内での研修や勉強会の実施 |
| 2 行政や関係団体が主催する研修や勉強会への参加 |
| 3 ACP(人生会議)を実施するためのツール(パンフレット等) |
| 4 時間的余裕や人員の配置等の体制整備 |
| 5 その他() |

介護予防について

問18 地域における介護予防への関わりの現状について、あてはまるものをすべて選んでください。
(複数回答)

- | |
|--|
| 1 自院で、住民向けの講義・講座や保健指導などを行っている |
| 2 地域や行政からの依頼を受けて、住民向けの講義・講座や保健指導を行っている |
| 3 自院でポスターやチラシを作成し、健康増進の普及啓発を行っている |
| 4 健診を行っている |
| 5 特に予防について取り組んでいない ⇒ 問18-1も回答 |
| 6 その他 () |

問18で、「5 取り組んでいない」と答えた機関のみ回答してください。

問18-1 取り組んでいない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 対応できる技術・知識がない | 2 時間がない等調整がつかない |
| 3 その他 () | |

問19 地域から住民向けの介護予防についての要請がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。
(1つ選択)

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1 要請が多い | 2 要請がある | 3 要請は少ない | 4 要請がない |
|---------|---------|----------|---------|

認知症対策について

問20 認知症（若年性を含む）についてご記入ください。

- (1) 貴機関で、認知症（若年性を含む）の診断、治療を行っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。 (1つ選択)

1 行っている 2 行っていない

(1) で「1 行っている」と答えた機関のみ回答してください。

(2) 現在、対応している認知症の人の年代別人数を記入してください。

(※令和4年8月1日現在の患者数（実数）の状況)

合計（実数：人）	65歳未満（人）	65歳以上（人）

- (3) 認知症対策を進めていくうえで、静岡市はどのようなことに重点を置いていくべきだと考えますか。あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

- 1 主治医から専門医療機関へのスムーズな連携体制づくり
- 2 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組み
- 3 医療と介護・行政との連携強化
- 4 医師の認知症対応力を上げる取組み
- 5 認知症グループホーム等の整備
- 6 介護サービスにあたる専門職の質の向上
- 7 家族の精神的な負担を緩和する取組み
- 8 家族を対象にした、介護やコミュニケーション方法等の研修会の開催
- 9 見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取組み
- 10 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 11 徘徊や緊急時への対応
- 12 認知症への正しい理解を広める取組み
- 13 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援
- 14 65歳未満で発症する若年性認知症患者への支援
- 15 虐待を防止する制度や取組み
- 16 その他（ ）

問21 次に掲載する認知症対策推進のための関係機関があることを知っていますか。あてはまる数字を1つ選んでください。

相談箇所名	認 知 度	
① 認知症疾患医療センター	1 知っている	2 知らない
② 静岡市認知症ケア推進センター（かけこまち七間町）	1 知っている	2 知らない
③ 静岡県若年性認知症相談窓口	1 知っている	2 知らない
④ 各地域包括支援センター	1 知っている	2 知らない

医療・介護・福祉スーパーバイザーについて

問22 医療・介護・福祉スーパーバイザーが医師会に配置されている（静岡医師会「医療・介護連携推進センター」、清水医師会「在宅医療介護相談室」）ことを知っていますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

1 知っている 2 知らない

情報共有ツールについて

問23 医科診療所、訪問看護、ケアマネジャーとの情報共有ツールとして活用しているものについて、情報共有先ごとに最も使用するもの1つに「○」を付けてください。

情報共有先	ICTシステム		郵送	FAX	電話	直接訪問	その他 ()
	シズケア *かけはし	その他 ()					
医科診療所							
訪問看護							
ケアマネジャー							

問24 在宅医療と介護との連携等に関するご意見があれば、記入してください。(自由記述)

[illegible]

質問は以上です。

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

※返信用封筒に封入の上、令和4年9月22日（木）までに、ご返送ください。

調査票2

在宅医療の提供と 連携に関する調査票

管理者の方にご回答願います

【 ③歯科診療所、④薬局 】

令和4年 9月

静岡市 地域包括ケア推進本部

返信用封筒に封入の上、令和4年 9月22日（木）までにご返送ください。

在宅医療・介護の提供と連携に関する調査

※ご記入の留意点

1. 設問中、特に記載のないものに関しては、令和4年8月1日現在の状況でお答えください。
2. 調査票に示す「在宅医療」とは、自宅のみでなく、有料老人ホーム・サービス付高齢者住宅・ケアハウス・グループホーム等の介護施設での医療提供を含めます。
3. 各質問の該当する項目のいずれかに○印をつけるか、又はご記入をお願いします。

貴機関の属性について

問1 貴機関の所在地はどこの区ですか。あてはまるものを1つ選んでください。（1つ選択）

1 禁区

2 駿河区

3 清水区

問1-1 貴機関の所在地はどこの包括圏域ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

区	番号	地域包括支援センター名	主な対象区域
葵区	1	城西	駒形、新通、田町
	2	安西番町	安西、番町
	3-①	城東	葵、安東
	3-②	井川	井川
	4	伝馬町横内	伝馬町、横内
	5	城北	麻機、竜南、城北
	6	千代田	千代田、千代田東
	7	長尾川	北沼上、西奈、西奈南
	8	美和	足久保、美和、安倍口
	9	賤機	井宮、井宮北、賤機南
	10	安倍	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中
	11	服織	服織、服織西、南藁科
12	藁科	中藁科、清沢、大川	
駿河区	13	小鹿豊田	東源台、東豊田、西豊田
	14	八幡山	森下、富士見
	15	大谷久能	大谷、久能
	16	大里中島	大里西、中島
	17	大里高松	中田、大里東、宮竹、南部、富士見の一部
	18	長田	長田東、長田南、川原
	19	丸子	長田北、長田西
清水区	20	港北	辻、江尻、袖師
	21	興津川	興津、小島
	22	両河内	両河内
	23	港南	入江、浜田、清水
	24	岡船越	岡、船越
	25	高部	高部
	26	飯田庵原	飯田、庵原
	27	松原	不二見、駒越、折戸、三保
	28	有度	有度
	29	蒲原由比	蒲原、由比

問2 貴機関の従事者について、職種ごとの人数を記入してください。

※複数の資格のある従事者については、主たる業務に係る職種1つに記入してください。

また、常勤、非常勤は問いません。

1 職種	2 従事者	3 従事者のうち在宅医療を実施している者
① 医師	() 人	() 人
② 歯科医師	() 人	() 人
③ 薬剤師	() 人	() 人
④ 保健師	() 人	() 人
⑤ 看護師	() 人	() 人
⑥ 准看護師	() 人	() 人
⑦ 歯科衛生士	() 人	() 人
⑧ 理学療法士	() 人	() 人
⑨ 作業療法士	() 人	() 人
⑩ 言語聴覚士	() 人	() 人
⑪ 栄養士	() 人	() 人
⑫ 社会福祉士	() 人	() 人
⑬ 介護福祉士	() 人	() 人
⑭ 介護支援専門員	() 人	() 人
⑮ ホームヘルパー	() 人	() 人
⑯ 介護職員	() 人	() 人
⑰ 事務職	() 人	() 人
⑱ その他	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人

問3 貴機関は次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※複数の機関を併設している場合は、この調査票の送付文に表示された、調査対象としての機関名を回答してください。

1 歯科診療所

2 薬局

在宅医療・訪問診療について

問4 訪問による診療、サービス提供等を実施していますか。また、現在実施していない場合も今後取組む意向はありますか。あてはまるものを1つ選んでください。 (1つ選択)

1 実施している

2 現在は実施していないが、5年以内に取組む意向がある

3 現在は実施していない。取組む意向はあるが実施は難しい

4 取組む意向はない

⇒ 問5へ

問4で「1 実施している」と答えた機関のみ回答してください。(問4-8まで)

問4-1 訪問診療等のうち、実施している事業をすべて選んでください。(複数回答)

1 訪問歯科診療	2 訪問歯科衛生指導
3 居宅療養管理指導	4 訪問薬剤管理指導
5 その他 ()	
()	()
()	()

問4-2 訪問による診療等を行った疾患別、場所別の患者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	1 訪問 歯科 診療 (人)	2 訪問 歯科 衛生 指導 (人)	3 訪問 薬剤 管理 指導 (人)	4 宅 療 養 管 理 指 導 (人)	5 その他 () (人)	() (人)	() (人)
(1) (疾患別) 患者数							
① 患者数 (実数)							
うち、がん患者数							
② 患者数 (延べ数)							
うち、がん患者数							
(2) 訪問場所別患者数 (実数)							
① 自宅							
② 特別養護老人ホーム							
③ 有料老人ホーム							
④ サービス付高齢者住宅							
⑤ 軽費老人ホーム (ケアハウス)							
⑥ グループホーム							
⑦ その他※病院、老人保健施設等への入院や短期入所を含む ()							
(3) 令和3年8月1日～令和4年7月31日までの1年間における患者数 (実数)							
① 看取り患者数 (実数)	() 人						
② 上記①のうち、がん患者数 (実数)	() 人						

問4-3 訪問診療、訪問薬剤管理指導等を行う対象について記入してください。

(1) 対象範囲(移動距離)を決めていますか。(1つ選択)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 決めている ⇒ 【静岡市内及び市外・市内・区内・その他()】 |
| 2 特に決めていない |

問4-4 訪問診療、訪問薬剤管理指導等に対応する時間帯を決めていますか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- | |
|--|
| 1 決めている ⇒ さらに①～⑤を選んでください。
① 24時間いつでも対応
② 診療時間内のみ対応
③ 診療時間外のみ対応
④ 曜日や時間を決めて対応
⇒【曜日】 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 土 ・ 日
【時間】() 時() 分～() 時() 分
⑤ その他()
2 決めていない |
|--|

問4-5 訪問で対応可能な処置等をすべて選んでください。(複数回答)

- | |
|--------------------|
| 1 歯科医療・口腔ケア(自費を含む) |
| 2 歯周病治療 |
| 3 むし歯の治療 |
| 4 抜歯等の処置 |
| 5 義歯関係処置(自費を含む) |
| 6 フッ素塗布 |
| 7 服薬管理・指導 |
| 8 麻薬の取扱い |
| 9 処方した薬の配達 |
| 10 衛生材料の配達 |
| 11 その他() |

問4ー6 患者の紹介元ごとに、患者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	患者の紹介元機関名	患者数（実数）
①	病院	（ ）人
②	医科診療所（有床）	（ ）人
③	医科診療所（無床）	（ ）人
④	歯科診療所（歯科医師会を含む）	（ ）人
⑤	薬局	（ ）人
⑥	訪問看護ステーション	（ ）人
⑦	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	（ ）人
⑧	看護小規模多機能型居宅介護事業所	（ ）人
⑨	居宅介護支援事業所	（ ）人
⑩	訪問介護事業所	（ ）人
⑪	通所介護事業所	（ ）人
⑫	訪問入浴介護事業所	（ ）人
⑬	訪問リハビリテーション事業所	（ ）人
⑭	通所リハビリテーション事業所	（ ）人
⑮	地域包括支援センター	（ ）人
⑯	行政機関	（ ）人
⑰	本人・家族	（ ）人
⑱	民生委員等	（ ）人
⑲	その他※入所、入居系サービス事業所を含む （ ）	（ ）人

問4ー7 在宅医療提供の終了状況ごとに、患者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	終了患者の状況	患者数（実数）
①	患者の死亡	（ ）人
②	患者の入院（他医療機関への転院も含む）	（ ）人
③	施設への入所	（ ）人
④	サービス付高齢者住宅への入居	（ ）人
⑤	引っ越し、転出	（ ）人
⑥	病状軽快	（ ）人
⑦	家族・親族等からの申し出	（ ）人
⑧	その他（ ）	（ ）人

問4－8 今後、現在の体制を維持した場合、訪問患者数を増やすことが可能ですか。

あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- | |
|-------------------------------|
| 1 患者数を増やすことが可能 → (1か月当たり 人程度) |
| 2 患者数を増やすことはできるが、現状を維持したい |
| 3 患者数を増やすことはできない |
| 4 わからない |
| 5 その他 () |

問4で、2～4のいずれかを選択した機関のみ回答してください。(問5－1まで)

問5 在宅医療、訪問診療、訪問薬剤管理指導等を実施していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | |
|--------------------|
| 1 実施するためのスタッフがいらない |
| 2 患者からのニーズがない |
| 3 採算が取れない |
| 4 必要性を感じない |
| 5 関心がない |
| 6 時間が確保できない |
| 7 専門領域以外の対応が困難 |
| 8 経験がない・不足している |
| 9 負担が大きい |
| 10 その他 () |

問5－1 在宅医療を開始するために必要なことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | |
|--------------------------|
| 1 指導・助言を得られるアドバイザーが身近にいる |
| 2 チームで実施できる体制 |
| 3 研修や体験の機会 |
| 4 病状悪化時等に入院できる受入先の確保 |
| 5 その他 () |

在宅医療・介護連携について

問6 貴機関は、コロナ禍において入院から在宅への移行に係る退院前カンファレンスに参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。 (1つ選択)

- | |
|-------------|
| 1 参加したことがある |
| ⇒ 1 対面 |
| 2 電話 |
| 3 紙面 |
| 4 オンライン開催 |
| 5 その他 () |
| 2 参加したことがない |

問7 貴機関は、コロナ禍においてサービス担当者会議に参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。 (1つ選択)

- | |
|-------------|
| 1 参加したことがある |
| ⇒ 1 対面 |
| 2 電話 |
| 3 紙面 |
| 4 オンライン開催 |
| 5 その他 () |
| 2 参加したことがない |

問8 次に掲載する他の関係機関との連携について、それぞれ、「連携がうまくいっている」事業所、「連携がうまくいっていない」事業所の数とその数を記入してください。

また、それぞれの主観的な理由として、あてはまるものすべてに○を付けてください。

(複数回答)

		(記入例).....	病院	医科診療所(有床)	医科診療所(無床)	歯科診療所	薬局	訪問看護ステーション	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	看護小規模多機能型居宅介護事業所	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	通所介護事業所	訪問入浴介護事業所	訪問リハビリテーション事業所	通所リハビリテーション事業所	施設(特養・老健等)	地域包括支援センター	行政機関
連携がうまくいっている事業所数		7																	
その理由	1.常に情報が行きかっている																		
	2.信頼関係が築けている	○																	
	3.先方の業務を理解できている																		
	4.必要時に連絡が取り合える																		
	5.迅速または熱心に対応してもらえる																		
	6.親切で配慮がある	○																	
	7.過去の実績がある																		
	8.その他()																		
連携がうまくいっていない事業所数		2																	
その理由	1.情報が来ない																		
	2.信頼性に欠ける																		
	3.顔の見える関係ができていない	○																	
	4.連携の必要性を理解されない																		
	5.連絡がとりづらい																		
	6.対応が遅い、または動かない																		
	7.親切でない																		
	8.過去に問題が生じた																		
	9.その他()																		

問9 全体的に医療・介護連携はうまくいっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。 (1つ選択)

- 1 うまくいっている
- 2 まあまあうまくいっている
- 3 あまりうまくいっていない
- 4 うまくいっていない
- 5 わからない

問9で、「3 あまりうまくいっていない」または「4 うまくいっていない」と答えた機関のみ回答してください。

問9-1 医療・介護連携でうまくいっていない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

- 1 他の職種と顔の見える関係が作れていない
- 2 他の職種の業務内容が共有できていない
- 3 情報交換する会議などの機会がない
- 4 情報交換する時間がない
- 5 病変の急変時における連携体制が不十分
- 6 人材が育成されていない
- 7 どの機関が主導してくれるかはっきりしていない
- 8 諸制度が複雑で連携する機関がわかりにくい
- 9 関係職種に連携の必要性が理解されていない
- 10 情報交換する方法がわからない
- 11 必要な研修を受講する機会がない
- 12 その他 ()

問10 在宅医療と介護の連携を進めていく上で、ここ3年間に取組みが進んだと思うことと、今後取組む必要があると思うことはどんなことですか。それぞれあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

項 目	取組みが進んでいる	今後取組む必要がある
1 圏域単位で他職種との情報交換・顔合わせの場を持つ（地域ケア会議の開催等）		
2 多職種による事例検討会の開催		
3 多職種が情報共有するためのツールの作成		
4 多職種連携の事例紹介		
5 在宅医療・介護連携についての知識の習得（研修会、講演会の開催等）		
6 地域包括支援センター等、圏域中心機関の機能強化		
7 在宅医療連携パスの作成		
8 市内で実施している在宅医療・介護関連の事業を整理		
9 一般市民への周知、啓発		
10 その他（ ）		

問11 貴機関の従事者の資質向上のためにどのようなことに取組まれていますか。
あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 貴機関内での研修や勉強会の実施 2 行政や職能団体が主催する事業、研修への積極的な参加 3 関係学会での発表、講師活動の機会の提供 4 サービス利用者等を対象とした評価のためのアンケート調査 5 資格取得のための支援制度の整備 6 従事者を対象とした自己啓発制度や表彰制度の導入 7 機関として地域づくりへの貢献の意識向上 8 その他（ ） |
|---|

終末期医療について

問12 終末期の段階にある患者の在宅医療に対応していますか。あてはまるものを1つ選んでください。 (1つ選択)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 対応している | 2 対応していない |
|----------|-----------|

問12で、「2 対応していない」と答えた機関のみ回答してください。

問12-1 対応していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- | |
|------------------------|
| 1 24時間の体制がとれない |
| 2 対応できる技術・知識がない |
| 3 終末期の方に限らず、訪問対応はしていない |
| 4 その他 () |

問13 在宅で終末期医療等を行う場合の限界について、どうお考えですか。

あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- | |
|------------------------------------|
| 1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている |
| 2 可能な限り在宅で行うが、死の直前は病院等医療機関で行うべきである |
| 3 可能な限り在宅で行いたい、単独では難しい |
| 4 可能な限り在宅で看取りまで行うべきである |
| 5 その他 () |

問13で、「1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている」と答えた機関のみ回答してください。

問13-1 その理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- | |
|---------------------------|
| 1 患者本人や家族にその意向がない |
| 2 介護する家族等に十分な知識がない |
| 3 終末期の病状に対応する設備が不十分である |
| 4 終末期の病状に対応する処置等の技術に不安がある |
| 5 対応できるチーム体制が整っていない |
| 6 その他 () |

ACP（人生会議）について

問14 現在、患者、利用者や家族に対して、ACP（人生会議）を実施していますか。（1つ選択）

- 1 実施している 2 実施していない

問 14 で、「2 実施していない」と答えた機関のみ回答してください。

問14-1 実施していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- 1 話し合いのためのノウハウがない
- 2 話し合う余裕がない
- 3 話を切り出すことに抵抗を感じる
- 4 話し合うきっかけがなかった
- 5 話し合う必要性を感じていない
- 6 対象となる患者がいない
- 7 その他（

)

問15 貴機関において、ACP（人生会議）の推進に必要と思われるものは何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- 1 貴機関内での研修や勉強会の実施
- 2 行政や関係団体が主催する研修や勉強会への参加
- 3 ACP（人生会議）を実施するためのツール（パンフレット等）
- 4 時間的余裕や人員の配置等の体制整備
- 5 その他（

)

認知症対策について

問16 認知症（若年性を含む）についてご記入ください。

- (1) 貴機関で、認知症（若年性を含む）の対応を行っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。 (1つ選択)

1 行っている 2 行っていない

(1) で「1 行っている」と答えた機関のみ回答してください。

(2) 現在、対応している認知症の人の年代別人数を記入してください。

(※令和4年8月1日現在の患者数（実数）の状況)

合計（実数：人）	65歳未満（人）	65歳以上（人）

(3) 認知症対策を進めていくうえで、静岡市はどのようなことに重点を置いていくべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

- 1 主治医から専門医療機関へのスムーズな連携体制づくり
- 2 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組み
- 3 医療と介護・行政との連携強化
- 4 医師の認知症対応力を上げる取組み
- 5 認知症グループホーム等の整備
- 6 介護サービスにあたる専門職の質の向上
- 7 家族の精神的な負担を緩和する取組み
- 8 家族を対象にした、介護やコミュニケーション方法等の研修会の開催
- 9 見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取組み
- 10 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 11 徘徊や緊急時への対応
- 12 認知症への正しい理解を広める取組み
- 13 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援
- 14 65歳未満で発症する若年性認知症患者への支援
- 15 虐待を防止する制度や取組み
- 16 その他（ ）

問17 次に掲載する認知症対策推進のための関係機関があることを知っていますか。あてはまる数字を1つ選んでください。

相談箇所名	認 知 度	
① 認知症疾患医療センター	1 知っている	2 知らない
② 静岡市認知症ケア推進センター（かけこまち七間町）	1 知っている	2 知らない
③ 静岡県若年性認知症相談窓口	1 知っている	2 知らない
④ 各地域包括支援センター	1 知っている	2 知らない

医療・介護・福祉スーパーバイザーについて

問18 医療・介護・福祉スーパーバイザーが医師会に配置されている（静岡医師会「医療・介護連携推進センター」、清水医師会「在宅医療介護相談室」）ことを知っていますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

1 知っている

2 知らない

情報共有ツールについて

問19 医科診療所、訪問看護、ケアマネジャーとの情報共有ツールとして活用しているものについて、情報共有先ごとに最も使用するもの1つに「○」を付けてください。

情報共有先	ICTシステム		郵送	FAX	電話	直接訪問	その他 ()
	シズケア *かけはし	その他 ()					
医科診療所							
訪問看護							
ケアマネジャー							

問20 在宅医療と介護との連携等に関するご意見があれば、記入してください。（自由記述）

質問は以上です。

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

※返信用封筒に封入の上、令和4年9月22日（木）までに、ご返送ください。

在宅医療の提供と 連携に関する調査票

管理者の方にご回答願います

- ⑤訪問看護ステーション
- ⑥定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
- ⑦看護小規模多機能居宅介護事業所
- ⑧訪問リハビリテーション事業所

令和4年 9月

静岡市 地域包括ケア推進本部

返信用封筒に封入の上、令和4年 9月 22日（木）までにご返送ください。

在宅医療・介護の提供と連携に関する調査

※ご記入の留意点

1. 設問中、特に記載のないものに関しては、令和4年8月1日現在の状況でお答えください。
2. 調査票に示す「在宅医療」とは、自宅のみでなく、有料老人ホーム・サービス付高齢者住宅・ケアハウス・グループホーム等の介護施設での医療提供を含めます。
3. 各質問の該当する項目のいずれかに○印をつけるか、又はご記入をお願いします。

貴事業所の属性について

問1 貴事業所の所在地はどの区ですか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

1 葵区

2 駿河区

3 清水区

問1-1 貴事業所の所在地はどの包括圏域ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

区	番号	地域包括支援センター名	主な対象区域
葵区	1	城西	駒形、新通、田町
	2	安西番町	安西、番町
	3-①	城東	葵、安東
	3-②	井川	井川
	4	伝馬町横内	伝馬町、横内
	5	城北	麻機、竜南、城北
	6	千代田	千代田、千代田東
	7	長尾川	北沼上、西奈、西奈南
	8	美和	足久保、美和、安倍口
	9	賤機	井宮、井宮北、賤機南
	10	安倍	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中
	11	服織	服織、服織西、南藁科
駿河区	12	藁科	中藁科、清沢、大川
	13	小鹿豊田	東源台、東豊田、西豊田
	14	八幡山	森下、富士見
	15	大谷久能	大谷、久能
	16	大里中島	大里西、中島
	17	大里高松	中田、大里東、宮竹、南部、富士見の一部
	18	長田	長田東、長田南、川原
清水区	19	丸子	長田北、長田西
	20	港北	辻、江尻、袖師
	21	興津川	興津、小島
	22	岡河内	岡河内
	23	港南	入江、浜田、清水
	24	岡船越	岡、船越
	25	高部	高部
	26	飯田庵原	飯田、庵原
	27	松原	不二見、駒越、折戸、三保
	28	有度	有度
	29	蒲原由比	蒲原、由比

問2 貴事業所の従事者について、職種ごとの人数を記入してください。

※複数の資格のある従事者については、主たる業務に係る職種1つに記入してください。

また、常勤、非常勤は問いません。

1 職種	2 従事者	3 従事者のうち在宅医療を実施している者
① 医師	() 人	() 人
② 歯科医師	() 人	() 人
③ 薬剤師	() 人	() 人
④ 保健師	() 人	() 人
⑤ 看護師	() 人	() 人
⑥ 准看護師	() 人	() 人
⑦ 歯科衛生士	() 人	() 人
⑧ 理学療法士	() 人	() 人
⑨ 作業療法士	() 人	() 人
⑩ 言語聴覚士	() 人	() 人
⑪ 栄養士	() 人	() 人
⑫ 社会福祉士	() 人	() 人
⑬ 介護福祉士	() 人	() 人
⑭ 介護支援専門員	() 人	() 人
⑮ ホームヘルパー	() 人	() 人
⑯ 介護職員	() 人	() 人
⑰ 事務職	() 人	() 人
⑱ その他	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人

問3 貴事業所は次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※複数の事業所を併設している場合は、この調査票の送付文に表示された、調査対象としての事業所名を回答してください。(1つ選択)

- 1 訪問看護ステーション
- 2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
- 3 看護小規模多機能型居宅介護事業所
- 4 訪問リハビリテーション事業所

問4 訪問によるサービスの提供等について、実施している事業をすべて選んでください。

(複数回答)

1 訪問看護	2 訪問リハビリテーション
3 訪問歯科衛生指導	4 訪問薬剤管理指導
5 訪問栄養・食事指導	6 訪問介護
7 その他 ()	
()	
()	
()	
()	

問5 訪問による診療等を行った疾患別、場所別の患者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	1 訪問看護 (人)	2 訪問リハビリテーション (人)	3 訪問歯科衛生指導 (人)	4 訪問薬剤管理指導 (人)	5 訪問栄養・食事指導 (人)	6 訪問介護 (人)	7 その他 () (人)	() (人)	() (人)	() (人)
(1) (疾患別) 利用者数										
① 利用者数 (実数)										
うち、がん患者数										
② 利用者数 (延べ数)										
うち、がん患者数										
(2) 訪問場所別利用者数 (実数)										
① 自宅										
② 特別養護老人ホーム										
③ 有料老人ホーム										
④ サービス付高齢者住宅										
⑤ 軽費老人ホーム (ケアハウス)										
⑥ グループホーム										
⑦ その他 ()										
(3) 令和3年8月1日～令和4年7月31日までの1年間における利用者数 (実数)										
① 看取り利用者数 (実数)	() 人									
② 上記①のうち、がん患者数 (実数)	() 人									

問6 訪問を行う対象について記入してください。

(1) 対象範囲(移動距離)を決めていますか。(1つ選択)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 決めている ⇒ 【静岡市内及び市外・市内・区内・その他()】 |
| 2 特に決めていない |

(2) 対象とする疾患等を決めていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

(複数回答)

- | | |
|----------|--------------|
| 1 がん | 2 糖尿病 |
| 3 高血圧性疾患 | 4 虚血性心疾患 |
| 5 脳血管疾患 | 6 認知症 |
| 7 神経難病 | 8 慢性呼吸不全 |
| 9 消化器疾患 | 10 泌尿器系疾患 |
| 11 肝臓疾患 | 12 腎疾患(透析含む) |
| 13 骨折 | 14 脊髄損傷 |
| 15 終末期 | 16 在宅における看取り |
| 17 口腔疾患 | 18 その他() |

問7 訪問診療等に対応する時間帯を決めていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- | |
|--|
| 1 決めている ⇒ さらに①～③を選んでください。
① 24時間いつでも対応
② 曜日や時間を決めて対応
⇒【曜日】 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 土 ・ 日
【時間】()時()分～()時()分
③ その他()
2 決めていない |
|--|

問8 訪問で対応可能な処置をすべて選んでください。

(複数回答)

1 経管栄養療法(胃ろう・腸ろう・経鼻カテーテル)	2 在宅酸素療法
3 在宅注射療法(IVH・点滴注射・自己注射)	4 在宅腹膜灌流
5 人工呼吸器の管理	6 気管切開の処置
7 膀胱カテーテルの留置・導尿	8 人工肛門(ストーマケア)・人工膀胱
9 看取り(の処置)	10 がん末期の疼痛管理
11 がん末期以外の疼痛等の管理	12 リハビリテーション
13 褥瘡処置・皮膚処置	14 吸入・吸引
15 浣腸・排便	16 人工透析
17 歯科医療・口腔ケア(自費を含む)	18 歯周病治療
19 むし歯の治療	20 抜歯等の処置
21 義歯関係処置(自費を含む)	22 フッ素塗布
23 服薬管理・点眼指導	24 麻薬の取扱い
25 認知症患者の対応	26 その他()

問9 利用者の紹介元ごとに、利用者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	利用者の紹介元機関名	利用者数(実数)
①	病院	()人
②	医科診療所(有床)	()人
③	医科診療所(無床)	()人
④	歯科診療所	()人
⑤	薬局	()人
⑥	訪問看護ステーション	()人
⑦	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	()人
⑧	看護小規模多機能型居宅介護事業所	()人
⑨	居宅介護支援事業所	()人
⑩	訪問介護事業所	()人
⑪	通所介護事業所	()人
⑫	訪問入浴介護事業所	()人
⑬	訪問リハビリテーション事業所	()人
⑭	通所リハビリテーション事業所	()人
⑮	地域包括支援センター	()人
⑯	行政機関	()人
⑰	本人・家族	()人
⑱	民生委員等	()人
⑲	その他()	()人

問10 サービス提供の終了状況ごとに、利用者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	終了利用者の状況	利用者数（実数）
①	利用者の死亡	（ ）人
②	利用者の入院（他医療機関への転院も含む）	（ ）人
③	施設への入所	（ ）人
④	サービス付高齢者住宅への入居	（ ）人
⑤	引っ越し、転出	（ ）人
⑥	病状軽快	（ ）人
⑦	家族・親族等からの申し出	（ ）人
⑧	その他（ ）	（ ）人

問11 貴事業所には、医療機関からの訪問指示が何か所、何人ありますか。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

病院	（ ）か所	利用者数（実数）（ ）人
医科診療所（有床・無床）	（ ）か所	利用者数（実数）（ ）人

※1人の利用者に複数の主治医がいる場合は、医療機関数は複数の主治医のいる箇所数を、利用者数（実数）は1人と記入

問12 主治医から訪問指示を受ける上で困ることはありますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

1 ある	2 ない
------	------

問12で、「1 ある」と答えた事業所のみ回答してください。

問12-1 主治医から訪問指示を受ける上で困ることがあると答えた理由について、あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

項 目	病院	医科診療所 （有床・無床）
① 主治医と連絡を取る際の窓口がわかりにくい		
② 外来診療時間の連絡が取りづらい		
③ 医師により対応が異なるため、その調整が難しい		
④ 指示書を書いてもらうまでに時間がかかる		
⑤ 主治医から高度の看護技術を指示され、対応ができないことがある		
⑥ 本人や家族からの依頼の場合、主治医が訪問看護の必要性を感じていない		
⑦ 複数の主治医がいる場合、どの医師に指示を得るのかの判断が難しい		
⑧ 特定の主治医がいない場合、その調整に時間がかかる		
⑨ その他（ ）		

問13 病院において医師以外に直接連携する職種について、あてはまるものをすべて選んでください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

(複数回答)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 病院の地域連携室担当者 | 2 外来看護師 |
| 3 病棟看護師 | 4 医療ソーシャルワーカー |
| 5 理学療法士等リハビリ職 | 6 薬剤師 |
| 7 歯科医師 | 8 その他の職種() |

問14 訪問指示書以外に医療機関から情報を得る場合、個人情報保護法等を理由に断られた、あるいは、情報提供料を請求されたこと等がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

(1つ選択)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 特にない | 2 断られたことがある |
| 3 情報提供料を請求されたことがある | |

問15 今後、現在の体制を維持した場合、訪問利用者数を増やすことが可能ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- | |
|--------------------------------|
| 1 利用者数を増やすことが可能 ⇒ (1か月当たり 人程度) |
| 2 利用者数を増やすことはできるが、現状を維持したい |
| 3 利用者数を増やすことはできない |
| 4 わからない |
| 5 その他() |

在宅医療・介護連携について

問16 貴事業所は、コロナ禍において入院から在宅への移行に係る退院前カンファレンスに参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。(1つ選択)

- | |
|--|
| 1 参加したことがある
⇒ 1 対面 2 電話 3 紙面 4 オンライン開催 5 その他() |
| 2 参加したことがない |

問17 貴事業所は、コロナ禍においてサービス担当者会議に参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。(1つ選択)

- | |
|--|
| 1 参加したことがある
⇒ 1 対面 2 電話 3 紙面 4 オンライン開催 5 その他() |
| 2 参加したことがない |

問18 次に掲載する他の関係機関との連携について、それぞれ、「連携がうまくいっている」事業所、「連携がうまくいっていない」事業所の各その数を記入してください。

また、それぞれの主観的な理由として、あてはまるものすべてに○を付けてください。

(複数回答)

		(記入例).....	病院	医科診療所(有床)	医科診療所(無床)	歯科診療所	薬局	訪問看護ステーション	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	看護小規模多機能型居宅介護事業所	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	通所介護事業所	訪問入浴介護事業所	訪問リハビリテーション事業所	通所リハビリテーション事業所	施設(特養・老健等)	地域包括支援センター	行政機関
連携がうまくいっている事業所数		7																	
その理由	1.常に情報が行きかっている																		
	2.信頼関係が築けている	○																	
	3.先方の業務を理解できている																		
	4.必要時に連絡が取り合える																		
	5.迅速または熱心に対応してもらえる																		
	6.親切で配慮がある	○																	
	7.過去の実績がある																		
	8.その他()																		
連携がうまくいっていない事業所数		2																	
その理由	1.情報が来ない																		
	2.信頼性に欠ける																		
	3.顔の見える関係ができていない	○																	
	4.連携の必要性を理解されない																		
	5.連絡がとりづらい																		
	6.対応が遅い、または動かない																		
	7.親切でない																		
	8.過去に問題が生じた																		
	9.その他()																		

問19 全体的に医療・介護連携はうまくいっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。 (1つ選択)

- 1 うまくいっている
- 2 まあまあうまくいっている
- 3 あまりうまくいっていない
- 4 うまくいっていない
- 5 わからない

問19で、「3 あまりうまくいっていない」または「4 うまくいっていない」と答えた事業所のみ回答してください。

問19-1 医療・介護連携でうまくいっていない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

- 1 他の職種と顔の見える関係が作れていない
- 2 他の職種の業務内容が共有できていない
- 3 情報交換する会議などの機会がない
- 4 情報交換する時間がない
- 5 病変の急変時における連携体制が不十分
- 6 人材が育成されていない
- 7 どの機関が主導してくれるかはっきりしていない
- 8 諸制度が複雑で連携する機関がわかりにくい
- 9 関係職種に連携の必要性が理解されていない
- 10 情報交換する方法がわからない
- 11 必要な研修を受講する機会がない
- 12 その他 ()

問20 在宅医療と介護の連携を進めていく上で、ここ3年間に取組みが進んだと思うことと、今後取組む必要があると思うことはどんなことですか。それぞれあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

項 目	取組みが進んでいる	今後取組む必要がある
1 圏域単位で他職種との情報交換・顔合わせの場を持つ (地域ケア会議の開催等)		
2 多職種による事例検討会の開催		
3 多職種が情報共有するためのツールの作成		
4 多職種連携の事例紹介		
5 在宅医療・介護連携についての知識の習得(研修会、講演会の開催等)		
6 地域包括支援センター等、圏域中心機関の機能強化		
7 在宅医療連携パスの作成		
8 市内で実施している在宅医療・介護関連の事業を整理		
9 一般市民への周知、啓発		
10 その他 ()		

問21 貴事業所の従事者の資質向上のためにどのようなことに取組まれていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- 1 貴事業所内での研修や勉強会の実施
- 2 行政や職能団体が主催する事業、研修への積極的な参加
- 3 関係学会での発表、講師活動の機会の提供
- 4 サービス利用者等を対象とした評価のためのアンケート調査
- 5 資格取得のための支援制度の整備
- 6 従事者を対象とした自己啓発制度や表彰制度の導入
- 7 事業所として地域づくりへの貢献の意識向上
- 8 その他 ()

終末期医療について

問22 終末期の段階にある利用者の在宅医療や在宅介護に対応していますか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 1 対応している
- 2 対応していない

問22で、「2 対応していない」と答えた事業所のみ回答してください。

問22-1 対応していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- 1 24時間の体制がとれない
- 2 対応できる技術・知識がない
- 3 その他 ()

問23 在宅で終末期医療等を行う場合の限界について、どうお考えですか。

あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- 1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている
- 2 可能な限り在宅で行うが、死の直前は病院等医療機関で行うべきである
- 3 可能な限り在宅で行いたい、単独では難しい
- 4 可能な限り在宅で看取りまで行うべきである
- 5 その他 ()

問23で、「1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている」と答えた事業所のみ回答してください。

問23-1 その理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- 1 利用者本人や家族にその意向がない
- 2 介護する家族等に十分な知識がない
- 3 終末期の病状に対応する設備が不十分である
- 4 終末期の病状に対応する処置等の技術に不安がある
- 5 対応できるチーム体制が整っていない
- 6 その他 ()

ACP（人生会議）について

問24 現在、患者、利用者や家族に対して、ACP（人生会議）を実施していますか。（1つ選択）

- | | |
|----------|-----------|
| 1 実施している | 2 実施していない |
|----------|-----------|

問24で、「2 実施していない」と答えた事業所のみ回答してください。

問24-1 実施していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）

- | |
|-------------------|
| 1 話し合いのためのノウハウがない |
| 2 話し合う余裕がない |
| 3 話を切り出すことに抵抗を感じる |
| 4 話し合うきっかけがなかった |
| 5 話し合う必要性を感じていない |
| 6 対象となる患者がいない |
| 7 その他（ |

）

問25 貴事業所において、ACP（人生会議）の推進に必要と思われるものは何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）

- | |
|---------------------------------|
| 1 貴事業所内での研修や勉強会の実施 |
| 2 行政や関係団体が主催する研修や勉強会への参加 |
| 3 ACP（人生会議）を実施するためのツール（パンフレット等） |
| 4 時間的余裕や人員の配置等の体制整備 |
| 5 その他（ |

）

認知症対策について

問26 認知症（若年性を含む）についてご記入ください。

(1) 貴事業所で、認知症（若年性を含む）の対応を行っていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- 1 行っている 2 行っていない

(1)で「1 行っている」と答えた事業所のみ回答してください。

(2) 現在、対応している認知症の人の年代別人数を記入してください。

(※令和4年8月1日現在の患者数(実数)の状況)

合計（実数：人）	65歳未満（人）	65歳以上（人）

(3) 認知症対策を進めていくうえで、静岡市はどのようなことに重点を置いていくべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- 1 主治医から専門医療機関へのスムーズな連携体制づくり
- 2 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組み
- 3 医療と介護・行政との連携強化
- 4 医師の認知症対応力を上げる取組み
- 5 認知症グループホーム等の整備
- 6 介護サービスにあたる専門職の質の向上
- 7 家族の精神的な負担を緩和する取組み
- 8 家族を対象にした、介護やコミュニケーション方法等の研修会の開催
- 9 見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取組み
- 10 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 11 徘徊や緊急時への対応
- 12 認知症への正しい理解を広める取組み
- 13 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援
- 14 65歳未満で発症する若年性認知症患者への支援
- 15 虐待を防止する制度や取組み
- 16 その他（

問27 次に掲載する認知症対策推進のための関係機関があることを知っていますか。あてはまる数字を1つ選んでください。

相談箇所名	認 知 度	
① 認知症疾患医療センター	1 知っている	2 知らない
② 静岡県認知症ケア推進センター（かけこまち七間町）	1 知っている	2 知らない
③ 静岡県若年性認知症相談窓口	1 知っている	2 知らない
④ 各地域包括支援センター	1 知っている	2 知らない

医療・介護・福祉スーパーバイザーについて

問28 医療・介護・福祉スーパーバイザーが医師会に配置されている（静岡医師会「医療・介護連携推進センター」、清水医師会「在宅医療介護相談室」）ことを知っていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

1 知っている

2 知らない

情報共有ツールについて

問29 医科診療所、ケアマネジャー、訪問介護との情報共有ツールとして活用しているものについて、情報共有先ごとに最も使用するもの1つに「○」を付けてください。

情報共有先	ICTシステム		郵送	FAX	電話	直接訪問	その他 ()
	シズケア *かけはし	その他 ()					
医科診療所							
ケアマネジャー							
訪問介護							

問30 在宅医療と介護との連携等に関するご意見があれば、記入してください。（自由記述）

[illegible]

質問は以上です。

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

※返信用封筒に封入の上、令和4年9月22日（木）までに、ご返送ください。

調査票 4

在宅医療の提供と 連携に関する調査票

管理者の方にご回答願います

【 ⑨訪問介護事業所、⑩訪問入浴介護事業所 】

令和4年 9月

静岡市 地域包括ケア推進本部

返信用封筒に封入の上、令和4年 9月 22日（木）までにご返送ください。

在宅医療・介護の提供と連携に関する調査

※ご記入の留意点

1. 設問中、特に記載のないものに関しては、令和4年8月1日現在の状況でお答えください。
2. 調査票に示す「在宅医療」とは、自宅のみでなく、有料老人ホーム・サービス付高齢者住宅・ケアハウス・グループホーム等の介護施設での医療提供を含めます。
3. 各質問の該当する項目のいずれかに○印をつけるか、又はご記入をお願いします。

貴事業所の属性について

問1 貴事業所の所在地はどの区ですか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

1 葵区

2 駿河区

3 清水区

問1-1 貴事業所の所在地はどの包括圏域ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

区	番号	地域包括支援センター名	主な対象区域
葵区	1	城西	駒形、新通、田町
	2	安西番町	安西、番町
	3-①	城東	葵、安東
	3-②	井川	井川
	4	伝馬町横内	伝馬町、横内
	5	城北	麻機、竜南、城北
	6	千代田	千代田、千代田東
	7	長尾川	北沼上、西奈、西奈南
	8	美和	足久保、美和、安倍口
	9	賤機	井宮、井宮北、賤機南
	10	安倍	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中
	11	服織	服織、服織西、南藁科
駿河区	12	藁科	中藁科、清沢、大川
	13	小鹿豊田	東源台、東豊田、西豊田
	14	八幡山	森下、富士見
	15	大谷久能	大谷、久能
	16	大里中島	大里西、中島
	17	大里高松	中田、大里東、宮竹、南部、富士見の一部
	18	長田	長田東、長田南、川原
清水区	19	丸子	長田北、長田西
	20	港北	辻、江尻、袖師
	21	興津川	興津、小島
	22	岡河内	岡河内
	23	港南	入江、浜田、清水
	24	岡船越	岡、船越
	25	高部	高部
	26	飯田庵原	飯田、庵原
	27	松原	不二見、駒越、折戸、三保
	28	有度	有度
	29	蒲原由比	蒲原、由比

問2 貴事業所の従事者について、職種ごとの人数を記入してください。

※複数の資格のある従事者については、主たる業務に係る職種1つに記入してください。

また、常勤、非常勤は問いません。

1 職種	2 従事者	3 従事者のうち在宅医療を実施している者
① 医師	() 人	() 人
② 歯科医師	() 人	() 人
③ 薬剤師	() 人	() 人
④ 保健師	() 人	() 人
⑤ 看護師	() 人	() 人
⑥ 准看護師	() 人	() 人
⑦ 歯科衛生士	() 人	() 人
⑧ 理学療法士	() 人	() 人
⑨ 作業療法士	() 人	() 人
⑩ 言語聴覚士	() 人	() 人
⑪ 栄養士	() 人	() 人
⑫ 社会福祉士	() 人	() 人
⑬ 介護福祉士	() 人	() 人
⑭ 介護支援専門員	() 人	() 人
⑮ ホームヘルパー	() 人	() 人
⑯ 介護職員	() 人	() 人
⑰ 事務職	() 人	() 人
⑱ その他	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人

問3 貴事業所は次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※複数の事業所を併設している場合は、この調査票の送付文に表示された、調査対象としての事業所名を回答してください。(1つ選択)

1 訪問介護事業所

2 訪問入浴介護事業所

問4 訪問によるサービス等の提供を行った疾患別、場所別の利用者数を記入してください。
※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

		1 訪問介護 (人)	2 訪問入浴介護 (人)
(1) (疾患別) 利用者数			
	① 利用者数 (実数)		
	うち、がん利用者数		
	② 利用者数 (延べ数)		
	うち、がん利用者数		
(2) 訪問場所別利用者数 (実数)			
	① 自宅		
	② 特別養護老人ホーム		
	③ 有料老人ホーム		
	④ サービス付高齢者住宅		
	⑤ 軽費老人ホーム (ケアハウス)		
	⑥ グループホーム		
	⑦ その他 ()		
(3) 令和3年8月1日～令和4年7月31日までの1年間における利用者数 (実数)			
	① 看取り利用者数 (実数)	() 人	
	② 上記①のうち、がん患者数 (実数)	() 人	

問5 訪問を行う対象について記入してください。

(1) 対象範囲(移動距離)を決めていますか。(1つ選択)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 決めている ⇒ 【静岡市内及び市外・市内・区内・その他()】 |
| 2 特に決めていない |

(2) 対象とする疾患等を決めていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

(複数回答)

- | | |
|----------|--------------|
| 1 がん | 2 糖尿病 |
| 3 高血圧性疾患 | 4 虚血性心疾患 |
| 5 脳血管疾患 | 6 認知症 |
| 7 神経難病 | 8 慢性呼吸不全 |
| 9 消化器疾患 | 10 泌尿器系疾患 |
| 11 肝臓疾患 | 12 腎疾患(透析含む) |
| 13 骨折 | 14 脊髄損傷 |
| 15 終末期 | 16 在宅における看取り |
| 17 口腔疾患 | 18 その他() |

問6 訪問等に対応する時間帯を決めていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- | |
|--|
| 1 決めている ⇒ さらに①～③を選んでください。
① 24時間いつでも対応
② 曜日や時間を決めて対応
⇒【曜日】 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 土 ・ 日
【時間】()時()分～()時()分
③ その他()
2 決めていない |
|--|

問7 これまでに担当した利用者が受けている医療処置等をすべて選んでください。(複数回答)

- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | 経管栄養療法（胃ろう・腸ろう・経鼻カテーテル） |
| 2 | 在宅酸素療法 |
| 3 | 在宅注射療法（IVH・点滴注射・自己注射） |
| 4 | 在宅腹膜灌流 |
| 5 | 人工呼吸器の管理 |
| 6 | 気管切開の処置 |
| 7 | 膀胱カテーテルの留置・導尿 |
| 8 | 人工肛門（ストーマケア）・人工膀胱 |
| 9 | 看取り（の処置） |
| 10 | がん末期の疼痛管理 |
| 11 | がん末期以外の疼痛等の管理 |
| 12 | リハビリテーション |
| 13 | 褥瘡処置・皮膚処置 |
| 14 | 吸入・吸引 |
| 15 | 浣腸・排便 |
| 16 | 人工透析 |
| 17 | 歯科医療・口腔ケア（自費を含む） |
| 18 | 歯周病治療 |
| 19 | むし歯の治療 |
| 20 | 抜歯等の処置 |
| 21 | 義歯関係処置（自費を含む） |
| 22 | フッ素塗布 |
| 23 | 服薬管理・点眼指導 |
| 24 | 麻薬の取扱い |
| 25 | 認知症患者の対応 |
| 26 | その他（ |
| | ） |

問8 貴事業所において今後対応していきたいと思う医療処置等があれば記入してください。
(複数回答)

- | | |
|---|------|
| 1 | 吸引 |
| 2 | 経管栄養 |
| 3 | その他（ |
| | ） |

問 9 利用者の紹介元ごとに、利用者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	利用者の紹介元機関名	利用者数（実数）
①	病院	（ ）人
②	医科診療所（有床）	（ ）人
③	医科診療所（無床）	（ ）人
④	歯科診療所	（ ）人
⑤	薬局	（ ）人
⑥	訪問看護ステーション	（ ）人
⑦	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	（ ）人
⑧	看護小規模多機能型居宅介護事業所	（ ）人
⑨	居宅介護支援事業所	（ ）人
⑩	訪問介護事業所	（ ）人
⑪	通所介護事業所	（ ）人
⑫	訪問入浴介護事業所	（ ）人
⑬	訪問リハビリテーション事業所	（ ）人
⑭	通所リハビリテーション事業所	（ ）人
⑮	地域包括支援センター	（ ）人
⑯	行政機関	（ ）人
⑰	本人・家族	（ ）人
⑱	民生委員等	（ ）人
⑲	その他（ ）	（ ）人

問10 サービス提供の終了状況ごとに、利用者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	終了利用者の状況	利用者数（実数）
①	利用者の死亡	（ ）人
②	利用者の入院（他医療機関への転院も含む）	（ ）人
③	施設への入所	（ ）人
④	サービス付高齢者住宅への入居	（ ）人
⑤	引っ越し、転出	（ ）人
⑥	病状軽快	（ ）人
⑦	家族・親族等からの申し出	（ ）人
⑧	その他（ ）	（ ）人

問11 今後、現在の体制を維持した場合、利用者数を増やすことが可能ですか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 1 利用者数を増やすことが可能 ⇒ (1か月当たり 人程度)
- 2 利用者数を増やすことはできるが、現状を維持したい
- 3 利用者数を増やすことはできない
- 4 わからない
- 5 その他 ()

在宅医療・介護連携について

問12 貴事業所は、コロナ禍において入院から在宅への移行に係る退院前カンファレンスに参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。(1つ選択)

- 1 参加したことがある
 - ⇒ 1 対面
 - 2 電話
 - 3 紙面
 - 4 オンライン開催
 - 5 その他 ()
- 2 参加したことがない

問13 貴事業所は、コロナ禍においてサービス担当者会議に参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。(1つ選択)

- 1 参加したことがある
 - ⇒ 1 対面
 - 2 電話
 - 3 紙面
 - 4 オンライン開催
 - 5 その他 ()
- 2 参加したことがない

問14 次に掲載する他の関係機関との連携について、それぞれ、「連携がうまくいっている」事業所、「連携がうまくいっていない」事業所の大よその数を記入してください。

また、それぞれの主観的な理由として、あてはまるものすべてに○を付けてください。

(複数回答)

		(記入例).....	病院	医科診療所(有床)	医科診療所(無床)	歯科診療所	薬局	訪問看護ステーション	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	看護小規模多機能型居宅介護事業所	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	通所介護事業所	訪問入浴介護事業所	訪問リハビリテーション事業所	通所リハビリテーション事業所	施設(特養・老健等)	地域包括支援センター	行政機関
連携がうまくいっている事業所数		7																	
その理由	1.常に情報が行きかっている																		
	2.信頼関係が築けている	○																	
	3.先方の業務を理解できている																		
	4.必要時に連絡が取り合える																		
	5.迅速または熱心に対応してもらえる																		
	6.親切で配慮がある	○																	
	7.過去の実績がある																		
	8.その他()																		
連携がうまくいっていない事業所数		2																	
その理由	1.情報が来ない																		
	2.信頼性に欠ける																		
	3.顔の見える関係ができていない	○																	
	4.連携の必要性を理解されない																		
	5.連絡がとりづらい																		
	6.対応が遅い、または動かない																		
	7.親切でない																		
	8.過去に問題が生じた																		
	9.その他()																		

問15 全体的に医療・介護連携はうまくいっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 1 うまくいっている
- 2 まあまあうまくいっている
- 3 あまりうまくいっていない
- 4 うまくいっていない
- 5 わからない

問15で、「3 あまりうまくいっていない」または「4 うまくいっていない」と答えた事業所のみ回答してください。

問15-1 医療・介護連携でうまくいっていない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- 1 他の職種と顔の見える関係が作れていない
- 2 他の職種の業務内容が共有できていない
- 3 情報交換する会議などの機会がない
- 4 情報交換する時間がない
- 5 病変の急変時における連携体制が不十分
- 6 人材が育成されていない
- 7 どの機関が主導してくれるかはっきりしていない
- 8 諸制度が複雑で連携する機関がわかりにくい
- 9 関係職種に連携の必要性が理解されていない
- 10 情報交換する方法がわからない
- 11 必要な研修を受講する機会がない
- 12 その他 ()

問16 在宅医療と介護の連携を進めていく上で、ここ3年間に取組みが進んだと思うことと、今後取組む必要があると思うことはどんなことですか。それぞれあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

項 目	取組みが進んでいる	今後取組む必要がある
1 圏域単位で他職種との情報交換・顔合わせの場を持つ (地域ケア会議の開催等)		
2 多職種による事例検討会の開催		
3 多職種が情報共有するためのツールの作成		
4 多職種連携の事例紹介		
5 在宅医療・介護連携についての知識の習得(研修会、講演会の開催等)		
6 地域包括支援センター等、圏域中心機関の機能強化		
7 在宅医療連携パスの作成		
8 市内で実施している在宅医療・介護関連の事業を整理		
9 一般市民への周知、啓発		
10 その他 ()		

問17 貴事業所の従事者の資質向上のためにどのようなことに取組まれていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1 貴事業所内での研修や勉強会の実施 | |
| 2 行政や職能団体が主催する事業、研修への積極的な参加 | |
| 3 関係学会での発表、講師活動の機会の提供 | |
| 4 サービス利用者等を対象とした評価のためのアンケート調査 | |
| 5 資格取得のための支援制度の整備 | |
| 6 従事者を対象とした自己啓発制度や表彰制度の導入 | |
| 7 事業所として地域づくりへの貢献の意識向上 | |
| 8 その他 () | |

終末期医療について

問 18 終末期の段階にある利用者の在宅介護に対応していますか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 対応している | 2 対応していない |
|----------|-----------|

問 18 で、「2 対応していない」と答えた事業所のみ回答してください。

問18-1 対応していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 24時間の体制がとれない | 2 対応できる技術・知識がない |
| 3 終末期の方に限らず、訪問対応はしていない | 4 その他 () |

問19 在宅で終末期医療等を行う場合の限界について、どうお考えですか。
あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている | |
| 2 可能な限り在宅で行うが、死の直前は病院等医療機関で行うべきである | |
| 3 可能な限り在宅で行いたい、単独では難しい | |
| 4 可能な限り在宅で看取りまで行うべきである | |
| 5 その他 () | |

問 19 で、「1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている」と答えた事業所のみ回答してください。

問19-1 その理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | | |
|---------------------------|--|
| 1 利用者本人や家族にその意向がない | |
| 2 介護する家族等に十分な知識がない | |
| 3 終末期の病状に対応する設備が不十分である | |
| 4 終末期の病状に対応する処置等の技術に不安がある | |
| 5 対応できるチーム体制が整っていない | |
| 6 その他 () | |

ACP（人生会議）について

問20 現在、患者、利用者や家族に対して、ACP（人生会議）を実施していますか。（1つ選択）

- 1 実施している 2 実施していない

問 20 で、「2 実施していない」と答えた事業所のみ回答してください。

問20-1 実施していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- 1 話し合いのためのノウハウがない
- 2 話し合う余裕がない
- 3 話を切り出すことに抵抗を感じる
- 4 話し合うきっかけがなかった
- 5 話し合う必要性を感じていない
- 6 対象となる患者がいない
- 7 その他（

)

問21 貴事業所において、ACP（人生会議）の推進に必要と思われるものは何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- 1 貴事業所内での研修や勉強会の実施
- 2 行政や関係団体が主催する研修や勉強会への参加
- 3 ACP（人生会議）を実施するためのツール（パンフレット等）
- 4 時間的余裕や人員の配置等の体制整備
- 5 その他（

)

認知症対策について

問22 認知症（若年性を含む）についてご記入ください。

(1) 貴事業所で、認知症（若年性を含む）の対応を行っていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- 1 行っている 2 行っていない

(1)で「1 行っている」と答えた事業所のみ回答してください。

(2) 現在、対応している認知症の人の年代別人数を記入してください。

(※令和4年8月1日現在の患者数（実数）の状況)

合計（実数：人）	65歳未満（人）	65歳以上（人）

(3) 認知症対策を進めていくうえで、静岡市はどのようなことに重点を置いていくべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- 1 主治医から専門医療機関へのスムーズな連携体制づくり
- 2 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組み
- 3 医療と介護・行政との連携強化
- 4 医師の認知症対応力を上げる取組み
- 5 認知症グループホーム等の整備
- 6 介護サービスにあたる専門職の質の向上
- 7 家族の精神的な負担を緩和する取組み
- 8 家族を対象にした、介護やコミュニケーション方法等の研修会の開催
- 9 見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取組み
- 10 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 11 徘徊や緊急時への対応
- 12 認知症への正しい理解を広める取組み
- 13 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援
- 14 65歳未満で発症する若年性認知症患者への支援
- 15 虐待を防止する制度や取組み
- 16 その他（

問23 次に掲載する認知症対策推進のための関係機関があることを知っていますか。あてはまる数字を1つ選んでください。

相談箇所名	認 知 度	
① 認知症疾患医療センター	1 知っている	2 知らない
② 静岡市認知症ケア推進センター（かけこまち七間町）	1 知っている	2 知らない
③ 静岡県若年性認知症相談窓口	1 知っている	2 知らない
④ 各地域包括支援センター	1 知っている	2 知らない

医療・介護・福祉スーパーバイザーについて

問 24 医療・介護・福祉スーパーバイザーが医師会に配置されている（静岡医師会「医療・介護連携推進センター」、清水医師会「在宅医療介護相談室」）ことを知っていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

1 知っている

2 知らない

情報共有ツールについて

問25 医科診療所、訪問看護、ケアマネジャーとの情報共有ツールとして活用しているものについて、情報共有先ごとに最も使用するもの1つに「○」を付けてください。

情報共有先	ICTシステム		郵送	FAX	電話	直接訪問	その他 ()
	シズケア *かけはし	その他 ()					
医科診療所							
訪問看護							
ケアマネジャー							

問26 在宅医療と介護との連携等に関するご意見があれば、記入してください。(自由記述)

--

質問は以上です。

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

※返信用封筒に封入の上、令和4年9月22日（木）までに、ご返送ください。

調査票5

在宅医療の提供と 連携に関する調査票

管理者の方にご回答願います

【 ⑪居宅介護支援事業所 】

令和4年 9月

静岡市 地域包括ケア推進本部

返信用封筒に封入の上、令和4年 9月 22日（木）までにご返送ください。

在宅医療・介護の提供と連携に関する調査

※ご記入の留意点

1. 設問中、特に記載のないものに関しては、令和4年8月1日現在の状況でお答えください。
2. 調査票に示す「在宅医療」とは、自宅のみでなく、有料老人ホーム・サービス付高齢者住宅・ケアハウス・グループホーム等の介護施設での医療提供を含めます。
3. 各質問の該当する項目のいずれかに○印をつけるか、又はご記入をお願いします。

貴事業所の属性について

問1 貴事業所の所在地はどこの区ですか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

1 禁区

2 駿河区

3 清水区

問1-1 貴事業所の所在地はどこの包括圏域ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

区	番号	地域包括支援センター名	主な対象区域
葵区	1	城西	駒形、新通、田町
	2	安西番町	安西、番町
	3-①	城東	葵、安東
	3-②	井川	井川
	4	伝馬町横内	伝馬町、横内
	5	城北	麻機、竜南、城北
	6	千代田	千代田、千代田東
	7	長尾川	北沼上、西奈、西奈南
	8	美和	足久保、美和、安倍口
	9	賤機	井宮、井宮北、賤機南
	10	安倍	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中
	11	服織	服織、服織西、南藁科
12	藁科	中藁科、清沢、大川	
駿河区	13	小鹿豊田	東源台、東豊田、西豊田
	14	八幡山	森下、富士見
	15	大谷久能	大谷、久能
	16	大里中島	大里西、中島
	17	大里高松	中田、大里東、宮竹、南部、富士見の一部
	18	長田	長田東、長田南、川原
	19	丸子	長田北、長田西
清水区	20	港北	辻、江尻、袖師
	21	興津川	興津、小島
	22	両河内	両河内
	23	港南	入江、浜田、清水
	24	岡船越	岡、船越
	25	高部	高部
	26	飯田庵原	飯田、庵原
	27	松原	不二見、駒越、折戸、三保
	28	有度	有度
	29	蒲原由比	蒲原、由比

問2 貴事業所の従事者について、職種ごとの人数を記入してください。

※複数の資格のある従事者については、主たる業務に係る職種1つに記入してください。

また、常勤、非常勤は問いません。

1 職種	2 従事者	3 従事者のうち在宅医療を実施している者
① 医師	() 人	() 人
② 歯科医師	() 人	() 人
③ 薬剤師	() 人	() 人
④ 保健師	() 人	() 人
⑤ 看護師	() 人	() 人
⑥ 准看護師	() 人	() 人
⑦ 歯科衛生士	() 人	() 人
⑧ 理学療法士	() 人	() 人
⑨ 作業療法士	() 人	() 人
⑩ 言語聴覚士	() 人	() 人
⑪ 栄養士	() 人	() 人
⑫ 社会福祉士	() 人	() 人
⑬ 介護福祉士	() 人	() 人
⑭ 介護支援専門員	() 人	() 人
⑮ ホームヘルパー	() 人	() 人
⑯ 介護職員	() 人	() 人
⑰ 事務職	() 人	() 人
⑱ その他	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人

問3 利用者にかかる相談等に対応する時間帯を決めていますか。あてはまるものを1つ選んでください。
(1つ選択)

1 決めている ⇒ さらに①～③を選んでください。

① 24時間いつでも対応

② 既定のサービス提供時間内のみ対応

③ その他 ()

2 決めていない

問4 利用者の紹介元ごとに、利用者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

利用者の紹介元機関名	利用者数（実数）
① 病院	（ ）人
② 医科診療所（有床）	（ ）人
③ 医科診療所（無床）	（ ）人
④ 歯科診療所	（ ）人
⑤ 薬局	（ ）人
⑥ 訪問看護ステーション	（ ）人
⑦ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	（ ）人
⑧ 看護小規模多機能型居宅介護事業所	（ ）人
⑨ 居宅介護支援事業所	（ ）人
⑩ 訪問介護事業所	（ ）人
⑪ 通所介護事業所	（ ）人
⑫ 訪問入浴介護事業所	（ ）人
⑬ 訪問リハビリテーション事業所	（ ）人
⑭ 通所リハビリテーション事業所	（ ）人
⑮ 地域包括支援センター	（ ）人
⑯ 行政機関	（ ）人
⑰ 本人・家族	（ ）人
⑱ 民生委員等	（ ）人
⑲ その他（ ）	（ ）人

問5 医療ケアが必要な利用者がいる場合、あてはまるものをすべて選んでください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

(複数回答)

1 経管栄養療法（胃ろう・腸ろう・経鼻カテーテル）	2 在宅酸素療法
3 在宅注射療法（IVH・点滴注射・自己注射）	4 在宅腹膜灌流
5 人工呼吸器の管理	6 気管切開の処置
7 膀胱カテーテルの留置・導尿	8 人工肛門（ストーマケア）・人工膀胱
9 看取り（の処置）	10 がん末期の疼痛管理
11 がん末期以外の疼痛等の管理	12 リハビリテーション
13 褥瘡処置・皮膚処置	14 吸入・吸引
15 浣腸・排便	16 人工透析
17 歯科医療・口腔ケア（自費を含む）	18 歯周病治療
19 むし歯の治療	20 抜歯等の処置
21 義歯関係処置（自費を含む）	22 フッ素塗布
23 服薬管理・点眼指導	24 麻薬の取扱い
25 認知症患者の対応	26 その他（ ）

問6 利用者の担当を終了した状況ごとに、利用者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	終了利用者の状況	利用者数（実数）
①	利用者の死亡	（ ）人
②	利用者の入院（他医療機関への転院も含む）	（ ）人
③	施設への入所	（ ）人
④	サービス付高齢者住宅への入居	（ ）人
⑤	引っ越し、転出	（ ）人
⑥	病状軽快	（ ）人
⑦	家族・親族等からの申し出	（ ）人
⑧	その他（ ）	（ ）人

在宅医療・介護連携について

問7 医療機関との医療情報の共有等について、主治医や病院の主治医等から聞いている情報は何か。あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

1 身体疾患名や治療の見込み等利用者の疾病に関する事
2 利用者の認知症状に関する事
3 薬の服用、副作用、通院の必要性（頻度）等、在宅生活に必要な医療に関する事
4 ADL等身体機能（能力）の状況に関する事
5 訪問看護の必要性に関する事
6 リハビリテーションサービス（通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション）の必要性に関する事
7 福祉用具や住宅改修等の必要性に関する事
8 日常生活での介護方法等、家族支援の必要性に関する事
9 急変時の対応
10 その他（ ）

問8 医療情報はどのようにして入手していますか。あてはまるものをすべて選んでください。
(複数回答)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1 主治医から直接入手 | 2 要介護認定における医師の意見書 |
| 3 薬局の薬剤師から | 4 本人・家族から |
| 5 その他 () | |

問9 普段、ケアプラン作成後、主治医等に対し、利用者のケアプランを提供していますか。最も多いものを1つ選んでください。
(1つ選択)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 常に提供している | 2 主治医等からの求めに応じて提供している |
| 3 利用者の状況等必要に応じて提供している | 4 ほとんど提供していない |
| 5 まったく提供していない | 6 その他 () |

問10 利用者の主治医をどのように把握していますか。あてはまるものをすべて選んでください。
(複数回答)

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1 本人・家族から | 2 要介護認定における医師の意見書から |
| 3 お薬手帳から | 4 病院等紹介先からの情報提供 |
| 5 その他 () | |

問11 利用者が入院した場合、入院医療機関に対し、在宅での生活状況等についての情報提供を行っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。
(1つ選択)

- | |
|----------------------------|
| 1 入院医療機関からの要請に関わらず、提供している |
| 2 入院医療機関からの要請があった場合、提供している |
| 3 直接は提供していないが、家族を通じてのみ提供する |
| 4 提供していない |
| 5 その他 () |

問11で「1 入院医療機関からの要請に関わらず、提供している」「2 入院医療機関からの要請があった場合、提供している」と答えた事業所のみ回答してください。

問11-1 どのように提供していますか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- | |
|---|
| 1 主治医等に面談して、利用者の生活状況やケアプランを提供している |
| 2 ほとんどの場合、電話やファックスでやり取りし、必要がある場合に面談している |
| 3 電話やファックスでやり取りし、面談はしていない |
| 4 その他 () |

問12 入院中の利用者の状況把握を含め、病院・診療所との連携は図られていると思いますか。
あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 連携できている | 2 概ねできている |
| 3 あまりできていない | 4 連携できていない |
| 5 関わりがない | 6 その他 () |

問12で「1 連携できている」または「2 概ねできている」と答えた事業所のみ回答してください。

問12-1 どのような方法で連携を行っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。
(複数回答)

- | |
|---|
| 1 事前に時間調整を行い、病院・診療所を訪問して、主治医に面談している |
| 2 ほとんどの場合、電話やファックスでやり取りし、必要がある場合に面談している |
| 3 電話やファックスで連絡を取り、面談はしていない |
| 4 診療情報提供書等の書類や手紙で連絡を取っており、面談していない |
| 5 カンファレンスに参加している |
| 6 利用者・家族を通じて話を聞いている |
| 7 その他 () |

問13 利用者の変化（病状の変化やサービス提供を受けなくなっているなど）について、どのようなタイミングで他機関に報告していますか。あてはまるものを1つ選んでください。
(1つ選択)

- | |
|---------------------------------|
| 1 状況等の報告を受けた、その日の営業時間内 |
| 2 状況等の報告を受けた、その日の営業時間外（夕方～夜間など） |
| 3 状況等の報告を受けた、翌日 |
| 4 サービス担当者会議の時 |
| 5 できるだけ早めに |
| 6 その他 () |

問14 問13の報告について、誰に報告をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。
(複数回答)

- | |
|----------------------------|
| 1 主治医 |
| 2 サービス提供を行っている事業者すべて |
| 3 居宅介護支援事業所の管理者 |
| 4 訪問看護を利用している場合は、看護師などの医療職 |
| 5 家族 |
| 6 その他 () |

問15 病院・診療所から利用者の情報を得る際、どのようなことに「連携が図れない」「連携が図りにくい」と感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

- 1 医師は敷居が高く苦手意識がある
- 2 連絡の方法がわからない
- 3 主治医が多忙なため、連絡しても会ってもらえないことがある
- 4 入院医療機関が遠方なため、主治医に会うことが困難
- 5 個人情報理由に答えてくれないことがある（情報提供を拒否された）
- 6 情報提供料等を請求される
- 7 主治医から「情報提供の必要はない」と言われる
- 8 その他（ ）

問16 貴事業所は、コロナ禍において入院から在宅への移行に係る退院前カンファレンスに参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。（1つ選択）

- 1 参加したことがある
⇒ 1 対面 2 電話 3 紙面 4 オンライン開催 5 その他()
- 2 参加したことがない

問17 貴事業所は、コロナ禍においてサービス担当者会議に参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。 (1つ選択)

- 1 参加したことがある
⇒ 1 対面 2 電話 3 紙面 4 オンライン開催 5 その他 ()
- 2 参加したことがない

問18 医療依存度の高い利用者を担当する①～⑭の場合について、それぞれ1～4の当てはまる数字をお答えください。
(それぞれ1つ選択)

	1 日常的に担当可能 3 実績はないが担当可能	2 少数なら担当可能 4 担当は不可能
① 在宅看取り		
② 疼痛管理		
③ 人工呼吸器		
④ 人工透析		
⑤ 頻回な医療ケア		
⑥ 病状不安定		
⑦ 入退院を繰り返す		
⑧ 感染症		
⑨ 難病		
⑩ 認知症		
⑪ 認知症以外の精神疾患		
⑫ 小児疾患		
⑬ リハビリテーション		
⑭ その他		
()		
()		
()		

問19 常に、信頼してサービスの提供を依頼できる事業所を何か所くらい持っていますか。

① 訪問介護事業所	() 所
② 訪問入浴介護事業所	() 所
③ 訪問リハビリテーション事業所	() 所
④ 訪問看護事業所	() 所
⑤ 通所介護事業所	() 所
⑥ 通所リハビリテーション事業所	() 所
⑦ その他 ()	() 所
()	() 所
()	() 所

問20 サービス提供事業所を変更したことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。
(1つ選択)

1 ある	2 ない
------	------

問20で、「1 ある」と答えた事業所のみ回答してください。

問20-1 サービス提供事業所を変更した理由としてあてはまるものをすべて選んでください。
(複数回答)

1 方針やケア内容等を理解されない	2 情報提供がなく、連携が困難
3 サービス提供担当者と利用者が合わない	4 サービス提供担当者が辞めた
5 主治医の意向	6 その他 ()

問21 次に掲載する他の関係機関との連携について、それぞれ、「連携がうまくいっている」事業所、「連携がうまくいっていない」事業所の各その数を記入してください。

また、それぞれの主観的な理由として、あてはまるものすべてに○を付けてください。

(複数回答)

		(記入例).....	病院	医科診療所(有床)	医科診療所(無床)	歯科診療所	薬局	訪問看護ステーション	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	看護小規模多機能型居宅介護事業所	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	通所介護事業所	訪問入浴介護事業所	訪問リハビリテーション事業所	通所リハビリテーション事業所	施設(特養・老健等)	地域包括支援センター	行政機関
連携がうまくいっている事業所数		7																	
その理由	1.常に情報が行きかっている																		
	2.信頼関係が築けている	○																	
	3.先方の業務を理解できている																		
	4.必要時に連絡が取り合える																		
	5.迅速または熱心に対応してもらえる																		
	6.親切で配慮がある	○																	
	7.過去の実績がある																		
	8.その他()																		
連携がうまくいっていない事業所数		2																	
その理由	1.情報が来ない																		
	2.信頼性に欠ける																		
	3.顔の見える関係ができていない	○																	
	4.連携の必要性を理解されない																		
	5.連絡がとりづらい																		
	6.対応が遅い、または動かない																		
	7.親切でない																		
	8.過去に問題が生じた																		
	9.その他()																		

問22 全体的に医療・介護連携はうまくいっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。 (1つ選択)

- 1 うまくいっている
- 2 まあまあうまくいっている
- 3 あまりうまくいっていない
- 4 うまくいっていない
- 5 わからない

問22で、「3 あまりうまくいっていない」または「4 うまくいっていない」と答えた事業所のみ回答してください。

問22-1 医療・介護連携でうまくいっていない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

- 1 他の職種と顔の見える関係が作れていない
- 2 他の職種の業務内容が共有できていない
- 3 情報交換する会議などの機会がない
- 4 情報交換する時間がない
- 5 病変の急変時における連携体制が不十分
- 6 人材が育成されていない
- 7 どの機関が主導してくれるかはっきりしていない
- 8 諸制度が複雑で連携する機関がわかりにくい
- 9 関係職種に連携の必要性が理解されていない
- 10 情報交換する方法がわからない
- 11 必要な研修を受講する機会がない
- 12 その他 ()

問23 在宅医療と介護の連携を進めていく上で、ここ3年間に取組みが進んだと思うことと、今後取組む必要があると思うことはどんなことですか。それぞれあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

項 目	取組みが進んでいる	今後取組む必要がある
1 圏域単位で他職種との情報交換・顔合わせの場を持つ (地域ケア会議の開催等)		
2 多職種による事例検討会の開催		
3 多職種が情報共有するためのツールの作成		
4 多職種連携の事例紹介		
5 在宅医療・介護連携についての知識の習得(研修会、講演会の開催等)		
6 地域包括支援センター等、圏域中心機関の機能強化		
7 在宅医療連携パスの作成		
8 市内で実施している在宅医療・介護関連の事業を整理		
9 一般市民への周知、啓発		
10 その他 ()		

問24 貴事業所の従事者の資質向上のためにどのようなことに取組まれていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- 1 貴事業所内での研修や勉強会の実施
- 2 行政や職能団体が主催する事業、研修への積極的な参加
- 3 関係学会での発表、講師活動の機会の提供
- 4 サービス利用者等を対象とした評価のためのアンケート調査
- 5 資格取得のための支援制度の整備
- 6 従事者を対象とした自己啓発制度や表彰制度の導入
- 7 事業所として地域づくりへの貢献の意識向上
- 8 その他 ()

終末期医療について

問25 終末期の段階にある利用者に対応していますか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 対応している | 2 対応していない |
|----------|-----------|

問25で、「2 対応していない」と答えた事業所のみ回答してください。

問25-1 対応していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | |
|----------------------------------|
| 1 24時間の体制がとれない |
| 2 対応できる技術・知識がない |
| 3 終末期の方に限らず、家族がいない等により対応しないことがある |
| 4 その他 () |

問26 在宅で終末期医療等を行う場合の限界について、どうお考えですか。
あてはまるものを1つ選んでください。 (1つ選択)

- | |
|------------------------------------|
| 1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている |
| 2 可能な限り在宅で行うが、死の直前は病院等医療機関で行うべきである |
| 3 可能な限り在宅で行いたいが、単独では難しい |
| 4 可能な限り在宅で看取りまで行うべきである |
| 5 その他 () |

問26で、「1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている」と答えた事業所のみ回答してください。

問26-1 その理由について、あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

- | |
|---------------------------|
| 1 利用者本人や家族にその意向がない |
| 2 介護する家族等に十分な知識がない |
| 3 終末期の病状に対応する設備が不十分である |
| 4 終末期の病状に対応する処置等の技術に不安がある |
| 5 対応できるチーム体制が整っていない |
| 6 その他 () |

ACP（人生会議）について

問27 現在、患者、利用者や家族に対して、ACP（人生会議）を実施していますか。
(1つ選択)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 実施している | 2 実施していない |
|----------|-----------|

問27で、「2 実施していない」と答えた事業所のみ回答してください。

問27-1 実施していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。
(複数回答)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 話し合いのためのノウハウがない | 2 話し合う余裕がない |
| 3 話を切り出すことに抵抗を感じる | 4 話し合うきっかけがなかった |
| 5 話し合う必要性を感じていない | 6 対象となる患者がいない |
| 7 その他 () | |

問28 貴事業所において、ACP（人生会議）の推進に必要と思われるものは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。
(複数回答)

- | |
|---------------------------------|
| 1 貴事業所内での研修や勉強会の実施 |
| 2 行政や関係団体が主催する研修や勉強会への参加 |
| 3 ACP（人生会議）を実施するためのツール（パンフレット等） |
| 4 時間的余裕や人員の配置等の体制整備 |
| 5 その他 () |

認知症対策について

問29 認知症（若年性を含む）についてご記入ください。

(1) 貴事業所で、認知症（若年性を含む）の対応を行っていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

(1つ選択)

- 1 行っている 2 行っていない

(1)で「1 行っている」と答えた事業所のみ回答してください。

(2) 現在、対応している認知症の人の年代別人数を記入してください。

(※令和4年8月1日現在の患者数(実数)の状況)

合計（実数：人）	65歳未満（人）	65歳以上（人）

(3) 認知症対策を進めていくうえで、静岡市はどのようなことに重点を置いていくべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- 1 主治医から専門医療機関へのスムーズな連携体制づくり
- 2 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組み
- 3 医療と介護・行政との連携強化
- 4 医師の認知症対応力を上げる取組み
- 5 認知症グループホーム等の整備
- 6 介護サービスにあたる専門職の質の向上
- 7 家族の精神的な負担を緩和する取組み
- 8 家族を対象にした、介護やコミュニケーション方法等の研修会の開催
- 9 見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取組み
- 10 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 11 徘徊や緊急時への対応
- 12 認知症への正しい理解を広める取組み
- 13 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援
- 14 65歳未満で発症する若年性認知症患者への支援
- 15 虐待を防止する制度や取組み
- 16 その他（

問30 次に掲載する認知症対策推進のための関係機関があることを知っていますか。あてはまる数字を1つ選んでください。

相談箇所名	認 知 度	
① 認知症疾患医療センター	1 知っている	2 知らない
② 静岡市認知症ケア推進センター（かけこまち七間町）	1 知っている	2 知らない
③ 静岡県若年性認知症相談窓口	1 知っている	2 知らない
④ 各地域包括支援センター	1 知っている	2 知らない

医療・介護・福祉スーパーバイザーについて

問31 医療・介護・福祉スーパーバイザーが医師会に配置されている（静岡医師会「医療・介護連携推進センター」、清水医師会「在宅医療介護相談室」）ことを知っていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

（1つ選択）

1 知っている

2 知らない

情報共有ツールについて

問32 医科診療所、訪問看護、訪問介護との情報共有ツールとして活用しているものについて、情報共有先ごとに最も使用するもの1つに「○」を付けてください。

情報共有先	ICTシステム		郵送	FAX	電話	直接訪問	その他 ()
	シズケア *かけはし	その他 ()					
医科診療所							
訪問看護							
訪問介護							

問33 在宅医療と介護との連携等に関するご意見があれば、記入してください。（自由記述）

質問は以上です。

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

※返信用封筒に封入の上、令和4年9月22日（木）までに、ご返送ください。

調査票6

在宅医療の提供と 連携に関する調査票

管理者の方にご回答願います

【 ⑫通所リハビリテーション事業所、⑬通所介護事業所 】

令和4年 9月

静岡市 地域包括ケア推進本部

返信用封筒に封入の上、令和4年 9月 22日（木）までにご返送ください。

在宅医療・介護の提供と連携に関する調査

※ご記入の留意点

1. 設問中、特に記載のないものに関しては、令和4年8月1日現在の状況でお答えください。
2. 調査票に示す「在宅医療」とは、自宅のみでなく、有料老人ホーム・サービス付高齢者住宅・ケアハウス・グループホーム等の介護施設での医療提供を含めます。
3. 各質問の該当する項目のいずれかに○印をつけるか、又はご記入をお願いします。

貴事業所の属性について

問1 貴事業所の所在地はどの区ですか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

1 葵区

2 駿河区

3 清水区

問1-1 貴事業所の所在地はどの区包括圏域ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

区	番号	地域包括支援センター名	主な対象区域
葵区	1	城西	駒形、新通、田町
	2	安西番町	安西、番町
	3-①	城東	葵、安東
	3-②	井川	井川
	4	伝馬町横内	伝馬町、横内
	5	城北	麻機、竜南、城北
	6	千代田	千代田、千代田東
	7	長尾川	北沼上、西奈、西奈南
	8	美和	足久保、美和、安倍口
	9	賤機	井宮、井宮北、賤機南
	10	安倍	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中
	11	服織	服織、服織西、南藁科
駿河区	12	藁科	中藁科、清沢、大川
	13	小鹿豊田	東源台、東豊田、西豊田
	14	八幡山	森下、富士見
	15	大谷久能	大谷、久能
	16	大里中島	大里西、中島
	17	大里高松	中田、大里東、宮竹、南部、富士見の一部
	18	長田	長田東、長田南、川原
清水区	19	丸子	長田北、長田西
	20	港北	辻、江尻、袖師
	21	興津川	興津、小島
	22	岡河内	岡河内
	23	港南	入江、浜田、清水
	24	岡船越	岡、船越
	25	高部	高部
	26	飯田庵原	飯田、庵原
	27	松原	不二見、駒越、折戸、三保
	28	有度	有度
	29	蒲原由比	蒲原、由比

問2 貴事業所の従事者について、職種ごとの人数を記入してください。

※複数の資格のある従事者については、主たる業務に係る職種1つに記入してください。

また、常勤、非常勤は問いません。

1 職種	2 従事者	3 従事者のうち在宅医療を実施している者
① 医師	() 人	() 人
② 歯科医師	() 人	() 人
③ 薬剤師	() 人	() 人
④ 保健師	() 人	() 人
⑤ 看護師	() 人	() 人
⑥ 准看護師	() 人	() 人
⑦ 歯科衛生士	() 人	() 人
⑧ 理学療法士	() 人	() 人
⑨ 作業療法士	() 人	() 人
⑩ 言語聴覚士	() 人	() 人
⑪ 栄養士	() 人	() 人
⑫ 社会福祉士	() 人	() 人
⑬ 介護福祉士	() 人	() 人
⑭ 介護支援専門員	() 人	() 人
⑮ ホームヘルパー	() 人	() 人
⑯ 介護職員	() 人	() 人
⑰ 事務職	() 人	() 人
⑱ その他	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人
()	() 人	() 人

問3 貴事業所は次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※複数の事業所を併設している場合は、この調査票の送付文に表示された、調査対象としての事業所名を回答してください。(1つ選択)

1 通所介護事業所

2 通所リハビリテーション事業所

問4 貴事業所が提供している内容について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- | | | |
|---------------|-----------------|--------------|
| 1 機能訓練 | 2 食事介助 | 3 入浴介助(清拭含む) |
| 4 レクリエーション | 5 医療依存度の高い人の受入れ | 6 認知症対応・受入れ |
| 7 栄養改善 | 8 口腔機能向上 | 9 中重度者ケアの提供 |
| 10 短期集中個別リハビリ | 11 社会参加の支援 | 12 健康状態の把握 |
| 13 ターミナル期の受入れ | 14 夜間サービスの実施 | 15 宿泊サービスの実施 |
| 16 緊急利用の対応 | 17 服薬介助 | 18 その他() |

問4で「1 機能訓練」を選んだ事業所のみ回答してください。

問4-1 実施している機能訓練の内容について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 理学療法士による個別機能訓練 | 2 看護師による個別・集団機能訓練 |
| 3 機器を利用した機能訓練 | 4 生活リハビリ(調理、おやつ作り 等) |
| 5 遊びリレーション、歌 等 | 6 園芸、野外歩行訓練 等 |
| 7 日帰り旅行 | 8 フットケア |
| 9 その他() | |

問5 問4で選んだもののうち、最も力を入れているものの番号を1つ記入してください。

(1つ選択)

()

問6 問4で選んだもののうち、人員が欠如となった場合に、最もリスクが高くなると思うものの番号を1つ記入してください。

(1つ選択)

()

問7 プラン作成やサービス提供を行っている中で、アドバイスを求めたいと思うことがありますか。

(1つ選択)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問7で「1 ある」と答えた事業所のみ回答してください。

問7-1 アドバイスを求めたいと思う理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

- | |
|------------------------------------|
| 1 目標や内容を決定していくために必要な知識・技術が不足しているため |
| 2 リハビリ等の経験、実績を有した職員が少なく、相談できない |
| 3 利用者に効果的な内容であるか不安 |
| 4 重度な利用者を担当したとき |
| 5 その他() |

問8 医療ケアが必要な利用者がいる場合、あてはまるものをすべて選んでください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

(複数回答)

1 経管栄養療法(胃ろう・腸ろう・経鼻カテーテル)	2 在宅酸素療法
3 在宅注射療法(IVH・点滴注射・自己注射)	4 在宅腹膜灌流
5 人工呼吸器の管理	6 気管切開の処置
7 膀胱カテーテルの留置・導尿	8 人工肛門(ストーマケア)・人工膀胱
9 看取り(の処置)	10 がん末期の疼痛管理
11 がん末期以外の疼痛等の管理	12 リハビリテーション
13 褥瘡処置・皮膚処置	14 吸入・吸引
15 浣腸・排便	16 人工透析
17 歯科医療・口腔ケア(自費を含む)	18 歯周病治療
19 むし歯の治療	20 抜歯等の処置
21 義歯関係処置(自費を含む)	22 フッ素塗布
23 服薬管理・点眼指導	24 麻薬の取扱い
25 認知症患者の対応	26 その他()

問9 利用者の紹介元ごとに利用者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	利用者の紹介元機関名	利用者数(実数)
①	病院	()人
②	医科診療所(有床)	()人
③	医科診療所(無床)	()人
④	歯科診療所	()人
⑤	薬局	()人
⑥	訪問看護ステーション	()人
⑦	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	()人
⑧	看護小規模多機能型居宅介護事業所	()人
⑨	居宅介護支援事業所	()人
⑩	訪問介護事業所	()人
⑪	通所介護事業所	()人
⑫	訪問入浴介護事業所	()人
⑬	訪問リハビリテーション事業所	()人
⑭	通所リハビリテーション事業所	()人
⑮	地域包括支援センター	()人
⑯	行政機関	()人
⑰	本人・家族	()人
⑱	民生委員等	()人
⑲	その他()	()人

問10 サービス提供の終了状況ごとに、利用者数を記入してください。

※令和4年5月1日～7月31日の3か月間

	終了利用者の状況	利用者数（実数）
①	利用者の死亡	（ ）人
②	利用者の入院（他医療機関への転院も含む）	（ ）人
③	施設への入所	（ ）人
④	サービス付高齢者住宅への入居	（ ）人
⑤	引っ越し、転出	（ ）人
⑥	病状軽快	（ ）人
⑦	家族・親族等からの申し出	（ ）人
⑧	その他（ ）	（ ）人

在宅医療・介護連携について

問11 貴事業所は、コロナ禍において入院から在宅への移行に係る退院前カンファレンスに参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。（1つ選択）

1 参加したことがある

⇒ 1 対面 2 電話 3 紙面 4 オンライン開催 5 その他（ ）

2 参加したことがない

問12 貴事業所は、コロナ禍においてサービス担当者会議に参加したことがありますか。ある場合、どのような手段での参加が主でしたか。（1つ選択）

1 参加したことがある

⇒ 1 対面 2 電話 3 紙面 4 オンライン開催 5 その他（ ）

2 参加したことがない

問13 利用者の変化（病状の変化や参加しない日が多くなったなど）について、どのようなタイミングで他機関に報告していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

（1つ選択）

1 気づいたその日の営業時間内 2 気づいたその日の営業時間外（夕方～夜間など）

3 気づいた翌日 4 サービス担当者会議の時

5 できるだけ早めに 6 その他（ ）

問14 問13の報告について、誰に報告をしていますか。

あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）

1 主治医

2 担当のケアマネジャー

3 事業所の管理者

4 訪問看護を利用している場合は、看護師などの医療職

5 家族

6 その他（ ）

問15 次に掲載する他の関係機関との連携について、それぞれ、「連携がうまくいっている」事業所、「連携がうまくいっていない」事業所の各その数を記入してください。

また、それぞれの主観的な理由として、あてはまるものすべてに○を付けてください。

(複数回答)

		(記入例).....	病院	医科診療所(有床)	医科診療所(無床)	歯科診療所	薬局	訪問看護ステーション	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	看護小規模多機能型居宅介護事業所	居宅介護支援事業所	訪問介護事業所	通所介護事業所	訪問入浴介護事業所	訪問リハビリテーション事業所	通所リハビリテーション事業所	施設(特養・老健等)	地域包括支援センター	行政機関
連携がうまくいっている事業所数		7																	
その理由	1.常に情報が行きかっている																		
	2.信頼関係が築けている	○																	
	3.先方の業務を理解できている																		
	4.必要時に連絡が取り合える																		
	5.迅速または熱心に対応してもらえる																		
	6.親切で配慮がある	○																	
	7.過去の実績がある																		
	8.その他()																		
連携がうまくいっていない事業所数		2																	
その理由	1.情報が来ない																		
	2.信頼性に欠ける																		
	3.顔の見える関係ができていない	○																	
	4.連携の必要性を理解されない																		
	5.連絡がとりづらい																		
	6.対応が遅い、または動かない																		
	7.親切でない																		
	8.過去に問題が生じた																		
	9.その他()																		

問16 全体的に医療・介護連携はうまくいっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。 (1つ選択)

- 1 うまくいっている
- 2 まあまあうまくいっている
- 3 あまりうまくいっていない
- 4 うまくいっていない
- 5 わからない

問16で、「3 あまりうまくいっていない」または「4 うまくいっていない」と答えた事業所のみ回答してください。

問16-1 医療・介護連携でうまくいっていない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

- 1 他の職種と顔の見える関係が作れていない
- 2 他の職種の業務内容が共有できていない
- 3 情報交換する会議などの機会がない
- 4 情報交換する時間がない
- 5 病変の急変時における連携体制が不十分
- 6 人材が育成されていない
- 7 どの機関が主導してくれるかはっきりしていない
- 8 諸制度が複雑で連携する機関がわかりにくい
- 9 関係職種に連携の必要性が理解されていない
- 10 情報交換する方法がわからない
- 11 必要な研修を受講する機会がない
- 12 その他 ()

問17 在宅医療と介護の連携を進めていく上で、ここ3年間に取組みが進んだと思うことと、今後取組む必要があると思うことはどんなことですか。それぞれあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

項 目	取組みが進んでいる	今後取組む必要がある
1 圏域単位で他職種との情報交換・顔合わせの場を持つ (地域ケア会議の開催等)		
2 多職種による事例検討会の開催		
3 多職種が情報共有するためのツールの作成		
4 多職種連携の事例紹介		
5 在宅医療・介護連携についての知識の習得(研修会、講演会の開催等)		
6 地域包括支援センター等、圏域中心機関の機能強化		
7 在宅医療連携バスの作成		
8 市内で実施している在宅医療・介護関連の事業を整理		
9 一般市民への周知、啓発		
10 その他 ()		

問18 貴事業所の従事者の資質向上のためにどのようなことに取組まれていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | |
|-------------------------------|
| 1 貴事業所内での研修や勉強会の実施 |
| 2 行政や職能団体が主催する事業、研修への積極的な参加 |
| 3 関係学会での発表、講師活動の機会の提供 |
| 4 サービス利用者等を対象とした評価のためのアンケート調査 |
| 5 資格取得のための支援制度の整備 |
| 6 従事者を対象とした自己啓発制度や表彰制度の導入 |
| 7 事業所として地域づくりへの貢献の意識向上 |
| 8 その他 () |

終末期医療について

問19 在宅で終末期医療等を行う場合の限界について、どうお考えですか。
あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- | |
|------------------------------------|
| 1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている |
| 2 可能な限り在宅で行うが、死の直前は病院等医療機関で行うべきである |
| 3 可能な限り在宅で行いたい、単独では難しい |
| 4 可能な限り在宅で看取りまで行うべきである |
| 5 その他 () |

問19で、「1 終末期医療等は、在宅で行うのは困難と考えている」と答えた事業所のみ回答してください。

問19-1 その理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | |
|---------------------------|
| 1 利用者本人や家族にその意向がない |
| 2 介護する家族等に十分な知識がない |
| 3 終末期の病状に対応する設備が不十分である |
| 4 終末期の病状に対応する処置等の技術に不安がある |
| 5 対応できるチーム体制が整っていない |
| 6 その他 () |

ACP（人生会議）について

問20 現在、患者、利用者や家族に対して、ACP（人生会議）を実施していますか。(1つ選択)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 実施している | 2 実施していない |
|----------|-----------|

問20で、「2 実施していない」と答えた事業所のみ回答してください。

問20-1 実施していない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 話し合いのためのノウハウがない | 2 話し合う余裕がない |
| 3 話を切り出すことに抵抗を感じる | 4 話し合うきっかけがなかった |
| 5 話し合う必要性を感じていない | 6 対象となる患者がいない |
| 7 その他 () | |

問21 貴事業所において、ACP（人生会議）の推進に必要と思われるものは何ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

- 1 貴事業所内での研修や勉強会の実施
- 2 行政や関係団体が主催する研修や勉強会への参加
- 3 ACP（人生会議）を実施するためのツール（パンフレット等）
- 4 時間的余裕や人員の配置等の体制整備
- 5 その他（ ）

認知症対策について

問22 認知症（若年性を含む）についてご記入ください。

(1) 貴事業所で、認知症（若年性を含む）の対応を行っていますか。
あてはまるものを1つ選んでください。（1つ選択）

- 1 行っている
- 2 行っていない

(1) で「1 行っている」と答えた事業所のみ回答してください。

(2) 現在、対応している認知症の人の年代別人数を記入してください。

（※令和4年8月1日現在の患者数（実数）の状況）

合計（実数：人）	65歳未満（人）	65歳以上（人）

(3) 認知症対策を進めていくうえで、静岡市はどのようなことに重点を置いていくべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答）

- 1 主治医から専門医療機関へのスムーズな連携体制づくり
- 2 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組み
- 3 医療と介護・行政との連携強化
- 4 医師の認知症対応力を上げる取組み
- 5 認知症グループホーム等の整備
- 6 介護サービスにあたる専門職の質の向上
- 7 家族の精神的な負担を緩和する取組み
- 8 家族を対象にした、介護やコミュニケーション方法等の研修会の開催
- 9 見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取組み
- 10 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 11 徘徊や緊急時への対応
- 12 認知症への正しい理解を広める取組み
- 13 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援
- 14 65歳未満で発症する若年性認知症患者への支援
- 15 虐待を防止する制度や取組み
- 16 その他（ ）

問23 次に掲載する認知症対策推進のための関係機関があることを知っていますか。あてはまる数字を1つ選んでください。

相談箇所名	認 知 度	
① 認知症疾患医療センター	1 知っている	2 知らない
② 静岡市認知症ケア推進センター（かけこまち七間町）	1 知っている	2 知らない
③ 静岡県若年性認知症相談窓口	1 知っている	2 知らない
④ 各地域包括支援センター	1 知っている	2 知らない

医療・介護・福祉スーパーバイザーについて

問24 医療・介護・福祉スーパーバイザーが医師会に配置されている（静岡医師会「医療・介護連携推進センター」、清水医師会「在宅医療介護相談室」）ことを知っていますか。
あてはまるものを1つ選んでください。（1つ選択）

1 知っている	2 知らない
---------	--------

情報共有ツールについて

問25 医科診療所、訪問看護、ケアマネジャーとの情報共有ツールとして活用しているものについて、情報共有先ごとに最も使用するもの1つに「○」を付けてください。

情報共有先	I C Tシステム		郵送	FAX	電話	直接訪問	その他 ()
	シズケア *かけはし	その他 ()					
医科診療所							
訪問看護							
ケアマネジャー							

問26 在宅医療と介護との連携等に関するご意見があれば、記入してください。（自由記述）

質問は以上です。
ご協力いただきまして、ありがとうございました。

※返信用封筒に封入の上、令和4年9月22日（木）までに、ご返送ください。

令和４年度 在宅医療の提供と連携に関する実態調査 報告書

発行年月 令和４年11月

発 行 静岡市

編 集 〒420-8602 静岡県静岡市葵区追手町５番１号

静岡市 保健福祉長寿局 地域包括ケア推進本部

在宅医療・介護連携推進係

TEL：054-221-1576 FAX：054-221-1577